







2023 教員プロフィール集

技術シーズと社会連携実績の紹介

-  機械工学科
-  電気電子システム工学科
-  電子制御工学科
-  物質工学科
-  環境都市工学科
-  一般教育科



独立行政法人国立高等専門学校機構
長岡工業高等専門学校
National Institute of Technology (KOSEN), Nagaoka College

ご挨拶

独立行政法人 国立高等専門学校機構
長岡工業高等専門学校校長

小林 幸夫



長岡高専は「人類の未来をきりひらく、感性ゆたかで実践力のある創造的技術者の育成」を理念として、地域の熱意と強い要望で昭和37年に創立され、昨年（令和4年）で60周年を迎えました。地域の皆様のご支援に感謝申し上げます。引き続き、長岡高専の大きな使命として、人財の輩出と研究力や課題解決力を通じた地域貢献活動に取り組んでまいります。

長岡高専の地域貢献を実現する仕組みの一つが、企業会員等からなる長岡工業高等専門学校技術協力会です。技術協力会は、長岡高専の教育・研究への協力や、会員相互の連携・交流により、産業技術の展開を図り、地域社会の発展に寄与することを目的に設立され、現在では300を超える会員数を擁する会に発展しました。また、まちなかキャンパス長岡、長岡産業活性化協会（NAZE）、にいがた産業創造機構（NICO）等の活動にも積極的に参加しております。さらに、長岡市の4大学（長岡技術科学大学、長岡造形大学、長岡大学、長岡崇徳大学）と連携するNaDeC（Nagaoka Delta Cone）構想のもと、新しい時代の教育や研究を推進し、地域に貢献する活動も行っております。

これらの地域貢献の核となる思想は、教育と研究の融合です。例えば、学生が地域の企業取材して企業のアピールポイントを公表し、発見した課題を解決するJSCOOP（ジェイスクープ）は長岡高専モデルとして広く注目されています。人と技術と地域とをつなぐ「地域創生教育研究推進室」は、教職員と学生、そして地域の皆様との連携による教育研究を推進しています。

この長岡高専教員プロフィール集は、長岡高専の教員の研究分野、所有する最新の装置・設備、さらに先生方のPRなどを紹介しています。この冊子が、地域の課題解決のためにお役に立つことができれば幸いです。ぜひご活用ください。

令和5年9月

目次

長岡高専の紹介

キーワード索引

氏名索引

機械工学科	1
電気電子システム工学科	13
電子制御工学科	23
物質工学科	33
環境都市工学科	45
一般教育科	55
in-port について	84,85
長岡高専技術協力会のご案内	86
長岡高専の産学連携制度	87
就職関連情報	88

教員ページの見方

1 氏名

2 キーワード

キーワード索引より、教員を探すことができます。

3 分野等

研究・専門分野、研究室名が記載されています。

4 email/URL

7 各項目

- ・ 研究分野
 - ・ 興味のあること / 技術 PR
 - ・ 特別設備
 - ・ 企業との連携実績
 - ・ 専門分野の魅力
- 以上の項目が記載されています。

5 職名

6 学位

8 写真

1 河田 剛毅 KAWADA, Yoshitaka

2 キーワード

冷水循環式雪冷房 / 冷熱取り出し / 貯雪 / 強度 / 雪堤

3 分野等

熱工学 / 雪氷工学

4 email

ykawada@nagaoka-ct.ac.jp



5 職名

教授

6 学位

博士(工学)

研究分野

冷水循環式雪冷房における冷熱取り出し性能の評価・改善
簡便な冷水循環式雪冷房装置の開発
道路脇に形成される雪堤の適正処理
強度試験装置による貯雪の強度評価
粒子構造観察による貯雪の強度評価

興味のあること・技術 PR

- ・ これまで行ってきた冷水循環式雪冷房における冷熱取り出し性能の評価・改善に関する研究で得られた知見を基に、コンパクトで簡便に利用できる冷水循環式の雪冷房装置の開発に取り組み始めました。
- ・ 貯雪の強度測定のために、せん断、曲げ、引っ張りの各種強度試験の実績があります。
- ・ これまで行ってきた貯雪の強度評価に関する研究で得られた知見を基に、最近、雪堤の崩れによる事故の防止を目的とした「雪堤の適正処理」に関する研究に取り組んでいます。

特別設備

USBカメラ式マイクروسコープ
強度試験用電動計測スタンド&デジタルフォースゲージ
高速カメラ同期式データロガー
フレーク&キューブアイスメーカー
キューブアイス用&ブロックアイス用氷削機
卓上スライド丸のこ
サーミスタ式デジタル温度計

企業との連携実績

地域冷暖房における冷熱輸送システムの開発
(長岡技科大、株荏原製作所、住友金属工業株)
氷水混相流利用方式の地域冷房システムにおける機器の開発
(長岡技科大、株荏原製作所、住友金属工業株、新潟工科大)
雪堤処理の効率化に関する研究
(長岡技科大、株ネクスコ・エンジニアリング新潟)



保冷コンテナへの雪入れ作業



雪冷房の熱交換実験



貯雪のせん断強度試験



高速道中央分離帯で発生した雪堤崩れ

8

長岡高専の紹介



長岡高専の特徴

全学科共通の AI/IoT 学習

“ これからの未来を支える
次世代技術者を育成する ”

長岡高専では、これからの未来を支える次世代技術者の育成に取り組んでいます。AI・IoT・RTの次世代技術の頭文字をとりAIR Technologyと名付け、AIR（空気）のような当たり前の知識・技術として使いこなすことができる、次世代AIR Tech エンジニアの育成を目指します。

AIR Tech リテラシー教育・自主的AIR Tech 実践活動・AIR Tech ラボの3つのSTEPに分け、これらの教育プログラムを「AIR Tech エンジニア育成プログラム」として制度化し、全ての学生に対してリテラシーコースを実施しています。

地域企業との積極的な連携

“ 地域企業と学校を繋げる
コーディネータ ”

コーディネータの役割は、地域 / 企業の皆様と長岡高専の橋渡しをすることです。

現在は、学生コーディネータを含む7名で、展示会出展などの技術協力会の情報発信、教員プロフィール集のリニューアルなどの活動・活用促進、企業の皆様から相談ごとがあった際の窓口を担っています。

技術相談申込みをいただいた際は、コーディネータにて企業訪問し、お困りごとをヒアリングします。

現場を見ながら課題の言語化や追加情報を収集した後に教員へ繋ぐことで、課題解決に向けたコミュニケーションが円滑化するよう心がけています。

コーディネータとして、企業 - 高専 - 地域にとって価値ある連携を大切にしています。



長岡高専は、国立長岡工業短期大学を前身とし、高等専門学校制度が発足した1962年（昭和37年）4月1日に国立高等専門学校第1期校12校のひとつとして設置されました。5年間にわたる一貫した各学科の専門教育並びに一般教育科の一般教育を学びます。なお、卒業すると、準学士（工学）の称号が得られ、大学3年次への編入資格が得られます。また、5年間の一貫教育を基礎に、さらに2年間のより高度な実践的、創造的教育により、先端技術に対応できる実践的技術者を育成することを目的として専攻科が設置されています。

5つの学科と3つの専攻科



異分野融合での共同研究

“従来の枠にとらわれない 異分野連携も可能とする共同研究”

異分野融合の共同研究とは、専門分野の異なる研究者たちが協力して行う研究のことを指します。共同研究により、研究の成果は世界的な問題解決につながり、実用的な成果が生み出されることもあります。

異分野融合の共同研究は、研究者たちだけでなく、社会全体の問題解決につながることが期待され、環境問題や社会的問題の解決においても有効な手段の一つとして注目されています。

長岡高専での異分野共同研究の例

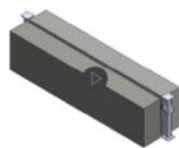
衝撃弾性波法に基づく橋梁小遊間部の浮き・剥離部検知装置の開発
環境都市工学科 × 機械工学科 × 株式会社ネクスコ・メンテナンス新潟

冬季の路面凍結防止に使用される塩分を含む材料は、道路橋の遊間部（狭い部分）に流れ込み、鉄筋の腐食を加速する可能性があります。この腐食が進行すると、コンクリートの剥離や落下を引き起こし、通行規制や橋の架け替えといった交通影響に繋がる可能性があるため、早期発見が求められます。しかし、遊間部の幅が約25mmと狭いために検査員が立ち入れず、従来の検査手法では限定的な領域しか検査できない

ため、腐食劣化領域の全体的な判断が困難です。この課題に対処するため、本プロジェクトでは、機械工学科と環境都市工学科の教員が連携、遊間部全域でのコンクリートの剥離領域を検出可能にする新たな装置の開発に成功しました。（特許第7020653号）

はじめに | 解決する課題

目的
橋梁小遊間部の浮き・剥離部
検知装置の確立



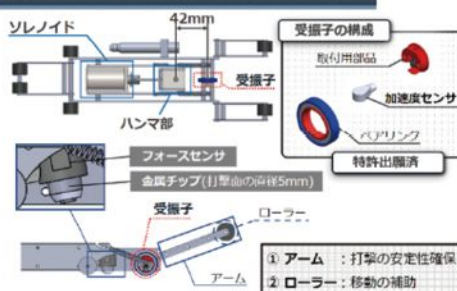
先行技術（打音）の課題

走行音
音の反響
評価精度の低下 ↓

新規技術

マイクروفोन
加速度センサ
（表面振動）
評価精度の改善 ↑

打撃試験装置（基礎研究の状況）



- ① アーム：打撃の安定性確保
- ② ロール：移動の補助

(アルファベット順)

【A~Z】

● AI	16,20,32
● AR	5,25
● Biocompatibility	80
● CFRP	7
● Electrical	79
● electrochemical biosensors	82
● FEM	7
● GIS 技術	51
● Hessenberg variety	75
● Hydroxyapatite	80
● ICT を用いた英語教育	58
● IoT	11,16,20,32
● KKR 法	56
● MR	5,25
● Nanobiomaterials	80
● nanomaterials	82
● Numerical simulation	79
● organic solar cells	82
● Plasma dynamics	79
● Preserver Problem	73
● Problem-solving methods	80
● Robotics	20
● SDGs	80
● Thinking and communication skills	80
● VR	5,25

(五十音順)

【あ】

● アクチュエータ	24
● 圧電	24
● 圧電材料	7
● 圧力	38

【い】

● 維持管理	47,48
● 遺伝子工学	52
● 異方性材料	7

● 医用情報工学	27
● 医療器械	10
● インフラ維持管理	46,53
● インフラ点検	5

【う】

● 運動・スポーツ	41
● 運動外遊び	67

【え】

● 英語教育	69,70
● 英語多読	64
● 英語表現活動	69
● 衛生工学	49,52
● 映像処理	31
● 栄養	41
● 越後	61
● エネルギー関連材料	37
● エネルギーシステム	74
● エネルギーハーベスト	24
● エピタキシャル成長	4

【お】

● 応力解析	7
● 音像定位技術	16

【か】

● 概エルミート多様体	60
● 課外活動	69
● 化学実験	39
● 可換 Banach 環	73
● 学習支援システム	29
● 確率解析	71
● 確率論	71
● 河川水	49
● 画像工学	31
● 画像処理	31
● 活性種	35
● カテキン	42

● 金型9
 ● カランメソッド58
 ● 環境微生物工学52
 ● 関数環73
 ● 環の拡大57

【き】

● 機械学習32
 ● 機械力学10
 ● 機器分析42
 ● 機構設計10
 ● 技術・戦術77
 ● 技能継承48
 ● 機能性ガラスおよびセラミックスの開発40
 ● 機能性高分子43
 ● 機能性食品41
 ● 教育学70
 ● 教育支援システム29
 ● 強度2
 ● 橋梁工学47
 ● 橋梁点検・診断53

【く】

● 空間・動作・感覚認知能力67
 ● 組換えタンパク質68
 ● 組込技術16
 ● クロマトグラフィー42

【け】

● 蛍光17
 ● 携帯電話15
 ● 下水処理52
 ● 結晶4
 ● 血栓分解酵素38
 ● 煙型雪崩50
 ● 原子核構造63
 ● 原子核反応63

【こ】

● 光化学35
 ● 工学基礎教育56
 ● 高機能材料9
 ● 工業レオロジー28
 ● 高周波21
 ● 合成化学43
 ● 高電圧21
 ● コーチング77
 ● 国際交流58
 ● 個体再生68
 ● こどもの運動67
 ● コミュニケーション64
 ● コンクリート工学47,48
 ● コンクリート施工46
 ● コンピュータビジョン25
 ● コンプトン散乱56

【さ】

● 災害軽減工学54
 ● 再生可能エネルギー44
 ● 再生可能エネルギー74
 ● 細胞培養38
 ● 材料組織3
 ● 材料特性の評価3
 ● 佐渡61
 ● サポートシステム30

【し】

● 耳音響個人認証16
 ● 色彩工学31
 ● 地震工学54
 ● 自然災害54
 ● 持続可能性社会38
 ● 児童文学72
 ● シミュレーション30
 ● 社会基盤47
 ● 社会人教育53
 ● 集束イオンビーム22

● 柔道	76	● センサ	24
● 重力波	32	【た】	
● 荘園	61	● 体育	76
● 浄化槽	52	● 代謝	41
● 焼結プロセス	3	● 代数的トポロジー	75
● 上水道	49	● 代替タンパク質・代替肉	38
● 情報幾何学	75	● ダイナミックシミュレーション	44
● 触媒反応器	44	● 第二言語習得 (ヒリース、モチベーション)	78
● 食品機能	34	● 大偏差原理	71
● 食物繊維機能	34	● 太陽光発電	11
● 食用キノコ	36	● 太陽電池	4,17,18
● 女性作家	72	● ダイレクトメソッド	58
● 女性史	72	【ち】	
● 資料保存	61	● 地域活性化	74
● 新規焼結技術の確立	40	● 地域資源循環	48
● 新規モデル生物・宿主開発	38	● 地下水	49
● 信号処理	32	● 超音波	24
● 深層学習	52	● 鳥獣害対策	20
● 深度センサ	15	● 超伝導	19
【す】		● 超分子	43
● 水槽実験	6	● 貯雪	2
● 水素生成	19	【つ】	
● 水道水	49	● 通信トラヒック特性	15
● 数学教育	57,60,65	【て】	
● 数値計算	50	● 泥水流	50
● 数値シミュレーション	51	● ディリクレ形式	71
● スポーツビジョン	77	● データ解析	32
【せ】		● デジタルツイン	11
● 制御	30	● テスティング	66
● 制御工学	26	● 哲学	59
● 清酒酵母	36	● 電子デバイス	18
● 生体信号計測	26,64	【と】	
● 生体センシング	27	● 透過電子顕微鏡	22
● 積層造形法 (3D プリンティング)	8	● 糖鎖	68
● 雪堤	2		
● 施工技術	46		
● 切削加工	8		

● 動的構造因子56
 ● 糖尿病41
 ● 都市61
 ● 土木施工46
 ● 砥粒加工8
 ● トレーニング76
 ● ドローン5

【な】

● 流れの可視化6
 ● 難消化性成分34

【に】

● 日本語学81
 ● 日本語教育78
 ● 日本語教育学81
 ● 日本中世61
 ● 人間関係69
 ● 人間工学26

【ね】

● ネットワーク29
 ● 熱交換11
 ● 熱力学11

【の】

● 農産物17

【は】

● バイオ医薬品38
 ● 廃棄物49
 ● 廃熱利用11
 ● 薄膜4
 ● 薄膜太陽電池37
 ● パルス電力21
 ● バレーボール77
 ● 半導体製造プロセス18
 ● 半導体光電極19
 ● 反応機構35

● 反応工学39
 ● 汎用的スキル69

【ひ】

● 光触媒19
 ● 微細加工14
 ● 微細気泡35
 ● ビジネス英語58
 ● 微生物分離36
 ● 表面・界面物性18

【ふ】

● 風洞実験6
 ● 不活動41
 ● 普及76
 ● 複合材料43
 ● ふく射伝熱11
 ● 武士61
 ● 吹雪50
 ● プラスチック成形28
 ● プラズマ21
 ● プラズマ科学22
 ● プログラミング25

【へ】

● 平安朝歌物語62
 ● ヘーゲル59
 ● 変換群論75
 ● 偏微分方程式65

【ほ】

● 防災工学54
 ● 放電加工9
 ● 放電コーティング9
 ● 補修・補強技術48
 ● ホモロジー代数57
 ● ポリフェノール42
 ● ポリマービーズ39
 ● ポリマー微粒子39

【ま】

- マルコフ過程71

【み】

- 水環境工学52
- 密度流50
- ミネラル41
- ミミズ38

【む】

- 村上春樹72

【め】

- メカトロ機器30

【も】

- ものづくり CLIL58

【や】

- 野菜収穫5
- ヤマトヒメミミズ68
- 大和物語62

【ゆ】

- 有機エレクトロニクス27
- 有機分析42
- 有限要素法8

【よ】

- 陽極酸化9

【ら】

- ライティング66
- ラマン散乱56

【り】

- リーマン多様体60
- リサイクル49
- 硫化物37
- 流体関連振動6
- 量子力学63
- 倫理学59

【れ】

- 冷水循環式雪冷房2
- 冷熱取り出し2
- レーザー14
- レーザー加工19
- レーザー分光17
- レクチン68
- 劣化診断48

【ろ】

- ロボット5

【わ】

- 和算60



■ 機械工学科

【あ行】

青柳 成俊…………… 3
池田富士雄…………… 5
井山 徹郎…………… 8
大石耕一郎…………… 4

【か行】

金子 健正…………… 9
河田 剛毅…………… 2
工藤 慈……………10

【さ行】

佐々木 徹…………… 7

【は行】

早川 佳孝……………11

【や行】

山岸 真幸…………… 6

■ 電気電子システム工学科

【あ-な行】

内田 雄大……………22
樺澤 辰也……………15
島宗 洋介……………18
竹内麻希子……………17
田村 文裕……………21
中村 奨……………14

【は-わ行】

平井 誠……………19
矢野 昌平……………16
和久井直樹……………20

■ 電子制御工学科

【あ行】

梅田 幹雄……………24

【か行】

上村 健二……………31

【さ行】

酒井 一樹……………32
佐藤 拓史……………30

【た行】

高橋 章……………29
竹部 啓輔……………26

外山 茂浩

【な行】

永井 睦……………28

【み行】

皆川 正寛……………27

■ 物質工学科

【あ行】

赤澤 真一……………38
熱海 良輔……………44
荒木 秀明……………37
奥村 寿子……………42

【か行】

河本 絵美……………41
小出 学……………40

【す行】

菅原 正義……………34

【た行】

田崎 裕二……………36

【は行】

細貝 和彦……………39

【ま行】

宮田 真理……………43
村上 能規……………35

■ 環境都市工学科

【あ行】

井林 康……………47

衛藤 俊彦……………50

【か行】

川上 周司……………52

小島由記子……………54

【さ行】

白井 一義……………53

【た行】

田中 一浩……………49

【ま行】

村上 祐貴……………48

【や行】

山本 隆広……………51

陽田 修……………46

■ 一般教育科

【あ行】

新井 好司……………63

市川 智之……………77

市村 勝己……………58

猪平 直人……………62

占部 昌蔵……………66

江田 茂行……………67

大湊 佳宏……………69

大森 理聡……………70

小川 秀……………68

【か行】

桐生 拓……………76

クラベツト タネット ……79

【さ行】

佐藤 秀一……………56

佐藤 直紀……………65

鈴木 覚……………59

【た行】

武樋 孝幸……………74

田中 聡……………61

タニア ペニャフロア……………80

田原 喜宏……………71

土田 泰子……………64

富樫 瑠美……………73

【な行】

中山雅友美……………75

野澤 武司……………57

【は行】

兵藤 桃香……………78

ペットサン ソピット ……82

堀口真利子……………72

【ま行】

増田 寿枝……………81

【や行】

山田 章……………60

機械工学科

本学科では、自動車、航空機、産業機械から、情報、エレクトロニクス、建設及び化学工業にいたるまで幅広い分野について研究しています。基礎学力の向上を重視し、機械、情報、電気・電子などの多くの実験・実習を行うことで学びを深めています。習得した技術を問題解決に応用できる技術者の育成のために、数学、物理の基礎、さらに力学解析、設計・加工、材料科学、計測・制御、熱・流体などの専門知識を有する教員が在籍しています。

WEB 版
教員プロフィール



河田 剛毅 KAWADA, Yoshitaka

キーワード

冷水循環式雪冷房 / 冷熱取り出し / 貯雪 / 強度 / 雪堤

分野等

熱工学 / 雪氷工学

email

ykawada@nagaoka-ct.ac.jp



職名

教授

学位

博士(工学)

研究分野

冷水循環式雪冷房における冷熱取り出し性能の評価・改善
簡便な冷水循環式雪冷房装置の開発
道路脇に形成される雪堤の適正処理
強度試験装置による貯雪の強度評価
粒子構造観察による貯雪の強度評価

興味のあること・技術 PR

- ・これまで行ってきた冷水循環式雪冷房における冷熱取り出し性能の評価・改善に関する研究で得られた知見を基に、コンパクトで簡便に利用できる冷水循環式の雪冷房装置の開発に取り組み始めました。
- ・貯雪の強度測定のために、せん断、曲げ、引っ張りの各種強度試験の実績があります。
- ・これまで行ってきた貯雪の強度評価に関する研究で得られた知見を基に、最近、雪堤の崩れによる事故の防止を目的とした「雪堤の適正処理」に関する研究に取り組んでいます。

特別設備

USBカメラ式マイクロスコープ
強度試験用電動計測スタンド&デジタルフォースゲージ
高速度カメラ同期式データロガー
フレーク&キューブアイスメーカー
キューブアイス用&ブロックアイス用氷削機
卓上スライド丸のこ
サーミスタ式デジタル温度計

企業との連携実績

地域冷暖房における冷熱輸送システムの開発
(長岡技科大、(株)荏原製作所、住友金属工業株)
氷水混相流利用方式の地域冷房システムにおける機器の開発
(長岡技科大、(株)荏原製作所、住友金属工業株、新潟工科大)
雪堤処理の効率化に関する研究
(長岡技科大、(株)ネクスコ・エンジニアリング新潟)



保冷コンテナへの雪入れ作業



雪冷房の熱交換実験



貯雪のせん断強度試験



高速道中央分離帯で発生した雪堤崩れ

青柳 成俊 AOYAGI, Naritoshi

キーワード

材料組織 / 材料特性の評価 / 焼結プロセス

分野等

Materials Science and Engineering

email

aoyagi@nagaoka-ct.ac.jp



職名 教授

学位 博士(工学)

研究分野

材料のプロセス開発, 材料組織学, 材料強度に関するマテリアルサイエンス分野.
チタン合金等航空宇宙, 高速輸送車両, 生体医療用材料, 焼結材料 等

興味のあること・技術 PR

航空宇宙あるいは輸送車両用構造材料, 生体医療用材料に関する材料組織と特性
の評価と材料設計

焼結接合材料のマルチプロセスによる界面特性制御

複合化による新機能の発現

材料加工プロセスと機械的物性的特性の評価等

共同開発, 共同研究の実績多数

特別設備

材料強度評価システム (100kN)

硬さ試験機 (HRC, HV, MHV)

金属研磨装置

光学顕微鏡

各種熱処理炉

溶解炉

電子天秤

電解研磨装置

熱サイクル試験機

シャルピー衝撃試験機

材料切断機

ダイヤモンドカッター

プローブ顕微鏡

走査型電子顕微鏡

SPS焼結装置 等

企業との連携実績

日本企業の社会人研究員の受け入れ (実績9名) . 海外からの留学研究員受け入れ
(シンガポール, フランス, フィンランド等7名) .

共同研究実績:

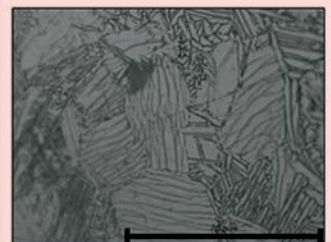
輸送車両, 航空宇宙, 自動車機器, デザインオブジェクト, 油田掘削, 半導体, プラント, エネルギー, セラミックス, 熱処理, プレス加工, 酒造等に関する企業との
連携多数 (例えば, JR 輸送車両部材の実体強度検証, 極細穴径鋼材の熱処理法の
開発, 連続熱処理中の鋼板ひずみ制御, 航空機用金属シールリング加工, 高温
焼結装置の開発, 高効率誘導磁性粉末焼結材の開発, 高機能ジルコニアとチタン
の焼結接合等) .



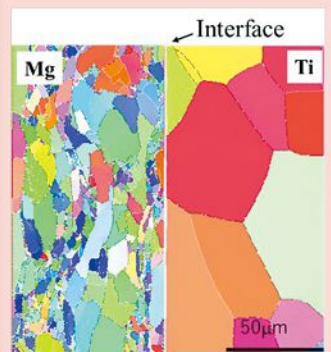
高速輸送機材料の塑性変形評価



酸化セラミックスの焼結接合



耐環境性向上 (チタン表面の改質)



チタン/マグネシウム焼結接合材の
生分解性評価

大石 耕一郎 OISHI, Koichiro

キーワード

結晶 / 太陽電池 / 薄膜 / エピタキシャル成長

分野等

応用物性・結晶工学、電気電子材料工学

email

oishi@nagaoka-ct.ac.jp



職名

教授

学位

博士(工学)

研究分野

無機化合物材料の作製とデバイス化に関する研究

興味のあること・技術 PR

真空中熱処理

熱処理用アンブル（内径 17 mm）内への真空封入と熱処理（1,200 °C 程度まで）に対応。

表面観察

デジタルマイクロスコープを用いた光学観察各種と SEM 観察が可能。

定性分析、定量分析

EDS 元素分析（定性及び定量）、X 線回折による定性分析及び結晶相の定量分析、結晶性評価、配向評価等

特別設備

真空封入装置

電気炉

デジタルマイクロスコープ観察評価システム（キーエンス VHX-1000 一式、共同利用設備）

走査電子顕微鏡（日本電子 JSM-IT200、JCM-7000、共同利用設備）

多目的 X 線回折分析評価システム（リガク RINT-Ultima III、MiniFlex、共同利用設備）

企業との連携実績

受託分析

技術相談支援（旧・地域共同テクノセンター）

NPO 法人長岡産業活性化協会 NAZE 理事（H27.5-H31.3）

工場見学の企画・相談（アルプスビジネスクリエーション 様）



真空封入装置



電気炉



デジタルマイクロスコープ観察評価システム



多目的 X 線回折分析システム

池田 富士雄 IKEDA, Fujio

キーワード

ロボット / ドローン / VR/AR/MR / 野菜収穫 / インフラ点検

分野等

制御工学、メカトロニクス、ロボット工学

email

iked@nagaoka-ct.ac.jp



職名

教授

学位

博士(工学)

研究分野

非GPS環境の地下下水道における自律移動ドローンの開発 (図1)

HoloLens2を用いた打音点検技能の支援ツールの開発 (図2)

橋梁遊間(狭隘)部の打音点検装置の開発 (図3)

不意な滑りを再現するトレッドミルの開発 (図4)

水田の雑草繁茂を抑制するアイガモロボットの開発 (図5)

興味のあること・技術 PR

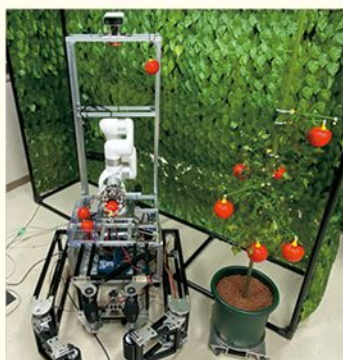
自然の力学法則を解明し活用することによって新たな価値を創造し、社会の役に立つ技術・システムの開発を目指しています。

ロボット、メカトロニクス分野を始めとして、AI技術やドローン、VR/AR/MRといった先端テクノロジーを活用した研究開発に取り組んでいます。

特別設備



ドライビングシミュレータ



ポット栽培野菜収穫ロボット

企業との連携実績

共同研究「橋梁遊間部の打音点検システムの開発」(2018-現在)

共同研究「MRデバイスによる打音点検の可視化」(2019-現在)

共同研究「野菜の自動収穫システムの開発」(2019-現在)

受託研究「非GPS環境の自律移動ドローンの研究」(2020-現在)



図1 研究用ドローン LAB445
(Raspberry Pi マイコン、LiDAR センサ追加)



図2 HoloLens2 によるコンクリート壁面への点検位置の重ね合わせ



図3 橋梁遊間部の打音点検装置

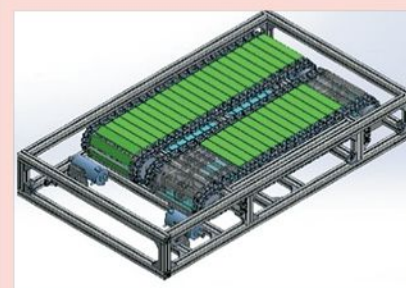


図4 不意な滑り再現トレッドミル



図5 アイガモロボット

山岸 真幸 YAMAGISHI, Masaki

キーワード

風洞実験 / 水槽実験 / 流れの可視化 / 流体関連振動

分野等

流体工学

email

yamagisi@nagaoka-ct.ac.jp



職名

准教授

学位

博士(工学)

研究分野

流体、特に空気流における諸現象の解明と、それらの工業的活用を目的とした研究を行っております。主に「流体励起振動」という工業的に厄介な現象を、逆にエネルギー源とした小規模風水力発電を扱っております。

興味のあること・技術 PR

風洞実験（～10 m/s 程度まで）を主としており、計測・解析技術についても開発を行っております。ウェーブレット変換の応用、画像解析による非接触変位測定法の構築も行っております。

中・小機器内外の流れの計測と可視化、簡易形状の物体周りの流れの数値シミュレーションに対応しております。主に空気流を扱っておりますが、内容によっては開水路水流（～1 m/s 程度まで）も対応いたします。

人の呼吸を再現する装置の開発を始めました。

特別設備

小型風洞、マイクロ風洞

小型回流水槽

スモークジェネレーター

熱線流速計

可視化用レーザーシート光源

往復脈動流発生装置

企業との連携実績

共同研究（サイエンスエコロジー様、H28）

技術相談（H28 1件、R02 2件）



図1 小型風洞・計測システム



図2 マイクロ風洞による流れの可視化



図3 水槽実験による小型水車の実験

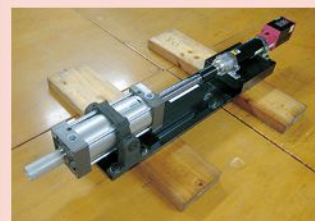


図4 往復脈動流発生装置

佐々木 徹 SASAKI, Toru

キーワード

圧電材料 / 異方性材料 / CFRP / FEM / 応力解析

分野等

固体力学、材料力学

email

trsasaki@nagaoka-ct.ac.jp



職名 准教授

学位 博士(工学)

研究分野

弾性理論を拡張した圧電材料の力学解析
異方性材料、各種の機能性材料の力学解析
CFRP接着継手、異材接合体の強度評価
圧電材料を利用した破壊制御

興味のあること・技術 PR

弾性理論に基づく材料強度解析や数値シミュレーションを用いて、様々な固体材料の強度評価や破壊メカニズム着目した研究を主に行なっております。各種材料、機械構造物および工作機械の力学的評価における共同研究を歓迎します。種々の条件下にて材料強度評価が可能です。

特別設備

卓上万能材料試験機 (SHIMADZU社) 図1
有限要素法解析システム (ANSYS, Marc)
数値シミュレーション用高機能計算機
自作ねじり試験器
超音波探傷器
光弾性実験装置

企業との連携実績

講師・NICO長岡モノづくりアカデミー (R01 ~)
共同研究「ハンマの有限要素解析」(H28)
共同研究「ハンマの引張強度評価」(H27)
共同研究「工作機械のひずみ測定」(H21)
共同研究「工作機械の応力解析」(H20)



図1 卓上万能材料試験機 (SHIMADZU社)

井山 徹郎 IYAMA, Tetsuro

キーワード

切削加工 / 砥粒加工 / 積層造形法 (3Dプリンティング) / 有限要素法

分野等

加工学、計測工学

email

iyama@nagaoka-ct.ac.jp



職名

准教授

学位

博士(工学)

研究分野

積層造形法を応用した機能性工具の開発 (図1)

複合材料を用いた高効率加工用砥石の開発

因習的な手作業加工の状態の可視化

加工技術、計測技術全般に渡った広い分野を研究のフィールドとしています。世に広く知られている既往の技術であっても、それらをうまく組み合わせ、これまでにない画期的な技術が生まれるチャンスはいたるところにあると考えています。皆様のモノづくりのお手伝いができれば幸いです。

興味のあること・技術 PR

- ・ 砥粒加工全般(固定砥粒加工、遊離砥粒加工)に渡り、研究に取り組んでおります。
- ・ 3Dプリンタの新しい使い方として、複合材料の3Dプリンティング技術を開発しております。
- ・ 加工中の工具や工作物の力や、振動などを可視化することで、多様な材料の加工の効率化、高精度化を目的としたお手伝いができます。
- ・ 3DCAD/CAM/CAEの技術指導も可能です。

特別設備

三次元測定機 (図2)

真円度測定機

切削動力計

6軸力覚センサー

5軸マシニングセンター

各種3Dプリンタ (FDM、DLP)

有限要素法解析ソフト(LS-Dyna)

企業との連携実績

3Dプリンタで作製したホーニング砥石の加工特性の評価 (倉敷機械様)

平面ラッピング加工の効率化に関する研究 (第一測範製作所様)

ハニカム状の切れ刃を有する砥石の評価 (ナノテム様) (図3)

超精密研削盤の最適加工条件の導出 (大菱計器製作所様)

非円形かさ歯車の加工技術に関する研究 (長岡歯車様)



図1 3Dプリンタで作製した内部に研削液の流路を持つ砥石



図2 三次元測定機

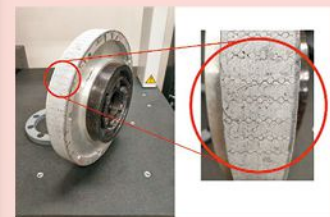


図3 ハニカム形状の切れ刃を有する砥石

金子 健正 KANEKO, Kensei

キーワード

放電加工 / 陽極酸化 / 放電コーティング / 金型 / 高機能材料

分野等

加工学および生産工学関連

email

kaneko@nagaoka-ct.ac.jp

研究分野

高機能材料の放電加工

放電加工用工具電極材料の開発

放電コーティングによる機能性皮膜の形成

超音波振動工具を用いた放電加工

プラスチック成形金型の離型性評価

MAX相セラミックスの放電加工、陽極酸化

興味のあること・技術 PR

- ・放電加工の加工特性向上に関する研究に取り組んでいます (図1)。放電加工に関するお困りごとがあれば、ぜひご相談ください。
- ・長岡技術科学大学南口研究室との共同研究で、金属とセラミックスの性質を併せ持つMAX相セラミックスの放電加工や陽極酸化に取り組んでいます。各種金型や金属部品の置き換えによる高機能化が期待できます (図2、3)。興味がありましたら、お気軽にお問い合わせください。
- ・木の実の殻割りにおける破壊特性 (アイエスマック様) (図4)、3Dプリンタによる十分杯の作製 (長岡大学グオン先生) (図5) など、特別設備を用いた周辺技術の開発にも積極的に取り組んでいます。

特別設備

形彫り放電加工機

ワイヤ放電加工機 (水仕様、油仕様)

細穴放電加工機

デジタルマイクロスコープ

組織観察用試料作製装置一式

企業との連携実績

放電プラズマ焼結体を工具電極に用いた放電加工に関する研究
(シンターランド様)

セラミックス製入れ子による環境対応型射出成形金型の開発
(坂井精機様、長岡技術科学大学南口先生、高専一長岡技科大一企業研究助成)

PCDの放電加工における高品位化技術の開発
(オータニツール様)

熱間鍛造におけるハンマー操作の形式知化
(上越工業様)



職名 准教授

学位 博士(工学)



図1 ピエゾステージや超音波振動を用いた放電加工特性向上の試み



図2 セラミックス製入れ子による環境対応型射出成形金型の開発



図3 陽極酸化によるMAX相セラミックスのカラーリング



図4 銀杏とピスタチオの殻割り荷重と割れ方の評価



図5 3Dプリンタによる十分杯の作製

工藤 慈 KUDO, Mitsuru

キーワード

機械力学 / 医療器械 / 機構設計

分野等

機械力学や設計関連

email

kudom@nagaoka-ct.ac.jp



職名

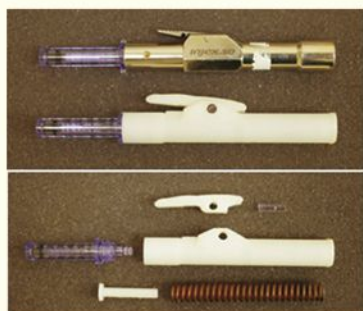
准教授

学位

博士(工学)

研究分野

プラスチック製針なし注射器の小型化、改良・開発



針なし採血器の開発

注射シミュレーション用皮膚モデルの製作と薬液皮内拡散の予測

興味のあること・技術 PR

現在は医療器械の中でも針無し注射器、採血器についての研究を行っています。
今後は生体工学関係の研究も行っていきたいと考えています。

特別設備

3D プリンター [Raise3D N2] (図1)

オープンクリーンベンチ

[テーブルコーチ KOACH T500-F] (図2)

デジタルゴム高度計 [DD4-C, CLE-150 ASKER] (図3)

企業との連携実績

共同研究：針なしインジェクターの基礎的研究

～針なしインジェクターの条件設定と薬液挙動の評価～(藤堂工業株式会社、
近畿大学、大阪市立大学)

共同研究：プラスチック製針なし注射器の開発・改良および機能評価 (アイ
ジェックス・ファーマインターナショナル株式会社)

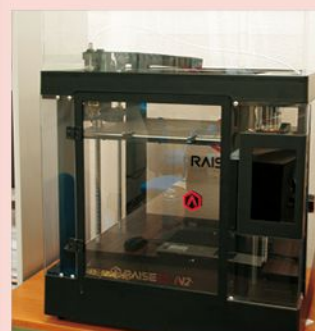


図1 3Dプリンター (PLA、ABS、PolyFlex ゴムライクフィラメントなど)



図2 オープンクリーンベンチ
(清浄空間：700 mm、清浄度：
ISO クラス1)



図3 ゴム高度計、定圧荷重装置
(軟質ゴム・ウレタンフォーム・スポンジ・巻き糸・フィルムロール・陶土・フットウェア)

早川 佳孝 HAYAKAWA, Yoshitaka

キーワード

太陽光発電 / ふく射伝熱 / 熱力学 / 熱交換 / 廃熱利用 / IoT / デジタルツイン

分野等

エネルギー工学研究室、エネルギー変換、エネルギー利用の効率化

email

yhmech@nagaoka-ct.ac.jp



研究分野

太陽光発電（主にパネルの設計および発電性能評価）

車両一体型太陽光発電（VIPV）

熱電変換材料を用いた熱エネルギー利用

再生可能エネルギー

エネルギー変換

エネルギー利用の効率化

太陽光発電など幅広くエネルギー利用技術を研究していきます。

職名

助教

学位

博士(工学)

興味のあること・技術 PR

●興味のあること

- ・ゲームエンジンを利用した動的な物理シミュレーション

ゲームエンジンを利用して、もう一つの現実世界を作り上げ、その中で様々な物理シミュレーションを行いたいと考えており、ご協力いただける方を探しています。

- ・都市・地域におけるエネルギー生成、エネルギー利用をデジタルツインシミュレーションを用いて可視化することにより、エネルギー利用の効率化、省エネを可能とします。ご興味のある方はご連絡ください。

特別設備

気象観測システム（直達日射，全天日射，風向風速，気温）導入予定

企業との連携実績

長岡技術科学大学 山田昇教授の下、以下の企業様と共同研究・研究協力などいただきました。

トヨタ自動車

アルプスアルパイン株式会社

エヌ・エス・エス 株式会社

北越工業株式会社

民間企業との太陽光発電パネル処理技術の開発

民間企業とのデジタルツインによる社会実装シミュレーション

電気電子システム 工学科

本学科では、情報通信、太陽電池、電力、レーザー、放射線、光、音、AI、コンピュータ等の電気電子に関わる分野について研究しています。あらゆる産業の基盤となる電気電子に特化した深い専門知識とそれを使いこなす技能を身につけ、電気電子システム工学の問題を解決する技術者育成のために、情報通信、AI・IoT、エネルギー・環境、電子材料・デバイスなどの専門知識を有する教員が在籍しています。

WEB 版
教員プロフィール



中村 奨 NAKAMURA, Susumu

キーワード

レーザー / 微細加工

分野等

レーザー応用工学研究室

email

snaka@nagaoka-ct.ac.jp



職名 教授

学位 工学博士

研究分野

多くの人々がその存在に気が付かないほど、レーザーは日常生活の中に入り込んでいます。どの家庭でもCDプレーヤーに内蔵するレーザーを持ち、金物店では様々なレーザー水準器が販売されており、全てではないにしても多くのコンピュータ、プリンタ、コピー機にはレーザーの技術が用いられています。本研究室では1.06 μm の赤外レーザー光から355nmの紫外レーザー光までを取り扱っており、電子材料の精密微細加工を中心に研究を進めています。

特別設備

コンティニューム社製パルスYAG (4波長対応) ナノ秒レーザー	1台
スペクトラフィジックス社製YLF (349nm) ナノ秒レーザー	1台
スペクトラフィジックス社製ファイバー (1060nm) ナノ秒レーザー	1台
アドバンスドオプトウェーブ社製YAG (355nm) ナノ秒レーザー	1台
アドバンスドオプトウェーブ社製YVO ₄ (532nm) ナノ秒レーザー	1台
フォトニクスインダストリー社製YVO ₄ (532nm) ピコ秒レーザー	1台
キーエンス社製デジタルマイクロスコープ	1台
朝日光学機製作所製デジタルマイクロスコープ	2台

企業との連携実績

図2はパルス紫外レーザー光によって厚さ0.5mmのマシナブルセラミックスに貫通孔をあけた結果です。

一般にレーザー光によってあけられる貫通孔は、レーザー光入射面側の直径が大きくて出射面側の直径が小さなテーパ状となるのが普通です。これに対して当研究室で開発した技術を使用すると、レーザー光入射面側の直径と出射面側の直径が等しいストレートの貫通孔、さらには出射面側の直径が大きな逆テーパの貫通孔をあけることも可能です。この技術は「貫通孔形成方法、及び、貫通孔形成加工品」として特許を取得しました(特許番号5432547号)。

【中村連絡先】

Tel: 0258-34-9238



図1 ダブルパルスレーザーによる微細加工

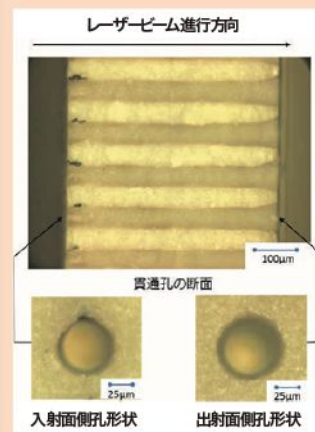


図2 マシナブルセラミックスへのストレート貫通孔あけ

樺澤 辰也 KABASAWA, Tatsuya

キーワード

携帯電話 / 通信トラヒック特性 / 深度センサ

分野等

情報通信工学

email

tkaba@nagaoka-ct.ac.jp



職名 教授

学位 博士(工学)

研究分野

携帯電話などの移動体通信系において、周波数チャネルを有効利用するために、車の移動を考慮した通信トラヒック特性の解析を行っています。限られた周波数チャネルを用いて有効に通話する方法を研究することにより、有限な周波数資源を活用し、より経済的な交換器の回線数の設計に役立つと考えられます。

モーションキャプチャデバイスXtionを用いた医療患者監視システムの開発を行っています。

興味のあること・技術 PR

通信トラヒックモデルなどの確率過程に関するシミュレーションプログラムの作成を行っております。通信トラヒックモデルなどの確率過程に関するシミュレーションプログラムの作成を行っております。

特別設備

スペクトラムアナライザ

Xtion開発環境



シミュレーション実行画面



スペクトラムアナライザ



Xtion を用いた医療患者監視システム

矢野 昌平 YANO, Shouhei

キーワード

耳音響個人認証 / 音像定位技術 / AI / IoT / 組込技術

分野等

音響、信号処理、組込技術、AI、IoT等

email

syano@nagaoka-ct.ac.jp



職名 教授

学位 博士(工学)

研究分野

私どもの研究室では音響信号の計測や信号処理およびコンピュータサイエンスに関する分野を得意としております。顔や指紋が異なるように、耳の中の形状も異なることを利用したバイオメトリクス技術「耳音響認証」を発明し特許（国内・国際）を所有しております。音や振動の計測や解析を行い、それらをAI等により識別することにより個人を識別します。また、製造業における課題解決に対しても取り組み、高専発の研究成果活用企業IntegrAIを起業しました。高専で学んだ知識や技術を社会に活用できる人材の育成に取り組んでおります。

興味のあること・技術 PR

学生時代から、モノづくりが大好きでした。科学技術の進歩とともにモノづくりの技術が上がりものづくりの可能性が劇的に進歩しています。私どもの研究室では、時代に追従できるよう日々新しい技術を学び、研究室の技術として取り入れ進歩しております。AIやIoTそして、3Dプリンタ等の設備やロボット技術をいち早く取り入れ世の中の最先端技術や論文そして企業や社会において求められている技術を複合・融合させイノベーションの創出を目指しております。

特別設備

無響室、遮音室、標準マイクロホン、ダミーヘッド、アナログレコード音響設備、AI用高速演算GPU設備、樹脂成型3Dプリンタ、光造形3Dプリンタ、研究室内ソフトウェア開発環境（GitLabサーバ、ファイルサーバ等）、大型テレビ会議システム等、ソフトウェアによる開発設備と簡単なプロトタイプ作成の設備が充実しております。

企業との連携実績

日本電気株式会社、ユニオンツール株式会社、BoCo株式会社、第一工業製薬、株式会社小川コンベヤ、サンシン株式会社、株式会社長岡電子、他多数。何十年前に大学で学んだ知識や技術が変わらず大切なものであることはもちろんですが、変わりゆく時代の中で今学ぶべきものは何かを、企業と連携することで教育・研究に取り入れております。企業の皆様との連携できることを楽しみにしております。



遮音室 / 音像定位システム設備



製品化された耳音響認証デバイス



NHK サイエンス ZERO にて紹介
2020.4



NHK サイエンス ZERO にて紹介
2022.6

竹内 麻希子 TAKEUCHI, Akiko

キーワード

レーザー分光 / 蛍光 / 太陽電池 / 農産物

分野等

分光計測、非破壊計測

email

akiko-t@nagaoka-ct.ac.jp



職名 教授

学位 博士(工学)

研究分野

太陽電池用多元化合物半導体のラマン分光測定

太陽電池用多元化合物半導体の可視域フォトルミネセンスの測定

蛍光法を用いた農産物の非破壊品質評価方法の検討

興味のあること・技術 PR

- リアルタイム・非破壊・脱薬品・生体内環境下での有機分子からの蛍光検出が可能である蛍光法を植物や農産物、食品などの非破壊検査法の手段として提案し、システム開発を行っています。
- 同じ分光計測として、太陽電池多元化合物半導体の光学的評価（主に欠陥評価）および結晶学的評価も行っています。

特別設備

小型蛍光寿命測定装置 (C11367-04 : 浜松ホトニクス)

絶対PL量子収率測定装置 (C11347-01 : 浜松ホトニクス)

ダブルレーザーラマン分光測定装置 (U1000: HORIBA JOBIN YVON S.A.S.)

モジュール型蛍光分光測定装置 (Fluorolog-3 NIR : HORIBA)



写真1 小型蛍光寿命測定装置および絶対 PL 量子収率測定装置



写真2 ダブルレーザーラマン分光測定装置



写真3 モジュール型蛍光分光測定装置

島宗 洋介 SHIMAMUNE, Yosuke

キーワード

太陽電池 / 表面・界面物性 / 電子デバイス / 半導体製造プロセス

分野等

電子工学、電子材料

email

shimamune@nagaoka-ct.ac.jp



職名

教授

学位

博士(工学)

研究分野

「化合物薄膜太陽電池の研究開発」

薄膜材料の成膜プロセス開発

表面界面物性分析および物性制御

太陽電池セルの電気特性評価

新しい化合物薄膜太陽電池の実用化を目的として、太陽電池を構成する各種薄膜の物性制御とそれらを集積化した高効率太陽電池に関する研究開発を行っています。太陽電池に限らず、半導体成膜プロセス開発技術、薄膜物性評価技術を要素技術としています。

興味のあること・技術 PR

- ・半導体薄膜の成膜（スパッタ、蒸着）、熱処理および物性分析（形状分析、元素分析）のお手伝いをいたします。民間企業において、半導体製造プロセス（低温選択エピタキシャル成長）の研究開発、装置開発、量産立ち上げの経験があります。
- ・オープンソリューションセンターにて共同利用分析設備の管理および技学イノベーション共用ネットワークへのアクセス支援を行っています。「こんな分析してみたい」があればご相談ください。
- ・技術の社会実装に興味があります。皆さまの課題解決のためにお役に立てることがあるかもしれません。まずは気軽にお話しを！

特別設備

純水製造設備

RFスパッタ装置

クリーンドラフト

原子間力顕微鏡（AFM, 表面電位、局所電流測定可能）

X線光電子分光装置（XPS）

グロー放電発光分光装置（GD-OES）

電界効果型電子顕微鏡（FE-SEM）

JV特性評価装置

紫外・可視域分光光度計

AC-Hall測定システム

- ・技学イノベーション共用ネットワーク/コアファシリティ事業の遠隔操作システムの学内設備を管理しています。電子顕微鏡を遠隔利用できます。
- ・見学随時受け付けてます！

企業との連携実績

長岡モノづくりアカデミー 社会人向け講座「初めての電子回路・制御講座」「機械設計のための電子回路の基礎」

高専教員および企業による相互見学ツアー 企画運営

温度管理用IoT組込システムの共同開発

無機材料の形状・組成の受託分析

技術相談支援（オープンソリューションセンター）

企業様との連携をもっと増やしていきたいと考えています。是非お声がけを！

平井 誠 HIRAI, Makoto

キーワード

光触媒 / レーザー加工 / 超伝導 / 半導体光電極 / 水素生成

分野等

エネルギー・環境、電気電子材料、レーザー応用

email

mhirai@nagaoka-ct.ac.jp



職名 准教授

学位 博士(工学)

研究分野

二酸化チタン (TiO₂) に代表される光触媒は、紫外光を当てることで有機物を分解する性質があるため注目を集めています。触媒には、その物質自身は少しも変化をせず、他の物質の反応を促進もしくは遅らせる効果があります。それが光によって行われるものを特に光触媒と呼びます。

本研究では金属超微粒子の担持方法を検討し、高効率で機能する可視光応答型光触媒の開発を目指しています。

興味のあること・技術 PR

新潟県はコメの他、野菜、花、きのこなどが全国的にも高い生産量を誇っています。現在、農業分野において、作物を高品質で安価かつ大量に生産することが益々求められています。これに対し、種子の発芽率を向上させることができれば、労力の掛かる間引きの工程を取り除けます。機能性材料の一つである光触媒を用いれば、光照射により生成される活性酸素により種子の発芽率を向上できるといった報告例があります。

長岡工業高等専門学校・電気電子システム工学科では、日常生活や産業技術を支える電気をいかに安全で、環境にやさしい方法で作るかを命題に、関連分野における教育・研究活動を積極的に展開しています。

特別設備

プログラマブルスパッタコーター

ソーラーシュミレーター

フーリエ変換赤外分光光度計

紫外可視分光光度計

企業との連携実績

現在、新潟県工業技術総合研究所・下越技術支援センターの研究員の方々から、切削工具のレーザー加工に関する技術相談を受け、研究員の方々や学生と協力して問題解決に取り組んでいます。

(レーザーは、電気電子システム工学科の中村先生の設備を使用させて頂いています。)

光触媒について

有機物を紫外光のみで分解できるため、光触媒が注目されている。

水質浄化

排水処理
有機物分解

空気浄化

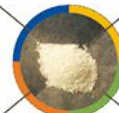
空気清浄器
ダイオキシン分解

抗菌・消臭

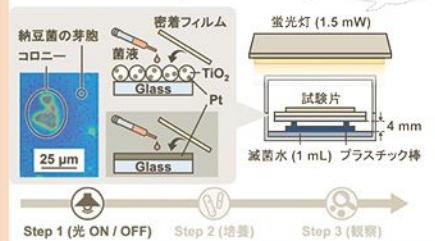
手術室
養鶏場消臭

セルフクリーン

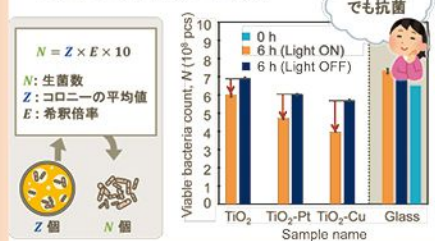
トンネル照明
外壁



抗菌実験方法 (光 ON / OFF)



抗菌実験結果 (生菌数)



可視光応答型光触媒の抗菌性能評価は日本工業規格 (Japanese Industrial Standards:JIS) による試験方法に従っています。

和久井 直樹 WAKUI,Naoki

キーワード

AI / IoT / Robotics / 鳥獣害対策

分野等

人間情報学、応用情報学

email

wakui@nagaoka-ct.ac.jp



職名

准教授

学位

博士(理学)

研究分野

以下のような研究テーマに学生と取り組んでいます。

AIを用いたカーブミラーの地際腐食判定 (図1)

遠隔操作型草刈り機の開発 (図2)

鳥害対策装置の開発 (図3)

興味のあること・技術PR

企業のお困りごとを学生と一緒に解決したいと考えています。

お困りごとがあればお気軽にご相談ください。

特別設備

デスクトップ型 CNC フライス (KitMill CL200)

3D プリンター (Adventurer3)

遠隔操作ロボットキット (CuGo V3)

深層学習用ワークステーション (NVIDIA GeForce RTX 4090 搭載)

企業との連携実績

●共同研究

「道路付属物の腐食度合いを判定する AI 開発」(令和5年度)

●技術相談

「斜面对応・小型自走式の草刈り機の実現」(令和4年度)

「養鯉業向けの水質測定にむけたソフトセンサの開発に関する相談」(令和3年度)

「錦鯉の選別 AI に関する意見交換」(令和3年度)

「錦鯉などの二十村郷発祥の文化をどのように継承していくか」(令和3年度)

●補助金事業

「バーチャルキャンパス構築業務」(令和3年度)

腐食なし



腐食あり



図1. AIを用いた地際腐食判定の検討



図2. 遠隔操作型草刈り機の開発

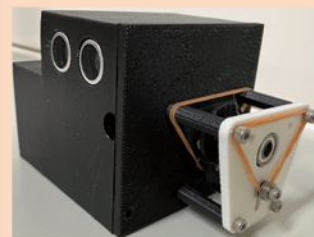


図3. テグスを用いた鳥害対策装置の試作機

田村 文裕 TAMURA, Fumihiro

キーワード

高電圧 / パルス電力 / プラズマ / 高周波

分野等

高電圧工学、電力工学

email

tamura2316@nagaoka-ct.ac.jp



職名

助教

学位

修士(工学)

研究分野

大電力パルス電力発生装置※による高速度飛翔体の衝突と計測に関する研究
大強度放射線環境下での電気機器損傷メカニズムの解明に関する研究
レーザーアブレーションイオンビーム加速のための加速用パルス電源に関する研究
信号線接地網上のノイズ解析と除去に関する研究

※長岡技術科学大学極限エネルギー密度工学センターの施設“ETIGO-II”を利用

興味のあること・技術 PR

- ・高周波、短パルス、高電圧といったノイズ環境下での計測が可能です。
- ・電磁界解析ソフトによる構造体の雷サージ解析や定在波現象の解析が可能です。

特別設備

電源 (図1)

直流バイアス電源

任意電圧波形発生装置

測定機器 (図2)

高電圧プローブ

電流センサ

FETプローブ

電磁界解析ソフト (図3)



図1 電源および任意波形発生装置



図2 各種測定機器

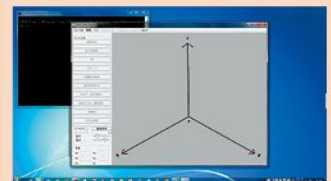


図3 電磁界解析ソフト

内田 雄大 UCHIDA, Yuki

キーワード

プラズマ科学 / 集束イオンビーム / 透過電子顕微鏡

分野等

核融合工学 / 放射線計測

email

yuchida@nagaoka-ct.ac.jp



職名

助教

学位

博士(工学)

研究分野

次世代のエネルギー源である核融合発電に関する研究を行っています。具体的には、壁材料に熱負荷や粒子負荷を与えた際の損傷の様子を加速器や顕微鏡などを駆使して調査しています。

高エネルギーイオン照射による核融合

プラズマ対向材の内部損傷に関する研究

タングステン中のヘリウムの拡散挙動解析

高電圧放射線電池を搭載した放射線計測システムの適用可能性

※長岡技術科学大学の施設を利用しています。

興味のあること・技術 PR

イオンの打ち込み計算、集束イオンビーム (FIB) を用いた透過型電子顕微鏡 (TEM) 観察用試料の作製・観察を得意としています。今年度、管状炉とビッカース硬度計導入しました。材料の表面および断面のミクロ領域の観察に関する相談があれば気軽にお問い合わせください。

特別設備

実体顕微鏡 (Hozan)

触針式表面粗計

管状炉 (株式会社アサヒ理化製作所 : R20417)

到達温度 1500°C, 雰囲気 (大気, N, N+3%H)

ビッカース硬度計 (株式会社マツザワ :VMT-X7)

試験力 : 1 - 50 kgf

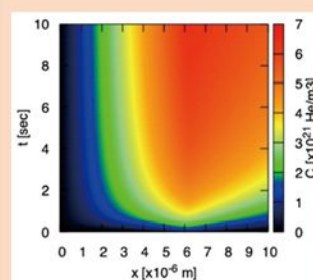
企業との連携実績

2020年 長岡市、原子力防災出前講座講師

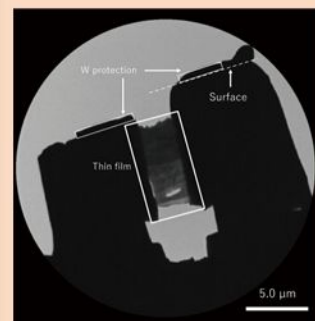
2021, 2022年 NICO 長岡モノづくりアカデミー講師「初めての電子回路・制御講座」

2022年 JSCOOP 課題「IoT/AI を使用した工場内作業者の動作 / 動線分析」

2023年 JSCOOP 課題「交通量調査の自動化」



1次元拡散方程式の数値シミュレーション結果



FIB で加工した TEM 観察用薄片試料



管状炉とガス導入系

電子制御工学科

本学科は、家電製品・自動車・コンピュータ等、高機能化する工業製品の生産に欠かせない電気・電子回路、制御、情報等の知識及びそれらの結合技術について深く教育・研究する分野複合学科です。電気電子工学、制御工学、情報工学、メカトロニクス、計測工学の専門知識を有する教員が在籍し、各分野における基礎から先端技術までの一貫した実践教育を通して、開発・設計・生産の現場で十分に力を発揮できる技術者育成を目指しています。

WEB 版
教員プロフィール



梅田 幹雄 UMEDA, Mikio

キーワード

圧電 / 超音波 / アクチュエータ / センサ / エネルギーハーベスト

分野等

圧電デバイス、超音波デバイス

email

umeda@nagaoka-ct.ac.jp

研究分野

圧電素子は、「電気エネルギー」－「機械エネルギー」変換が容易なことから、通信用デバイス、計測用デバイス、パワーデバイスなど、様々な分野に活用されています。本研究室では、圧電セラミックスの基礎から超音波応用に至るまで、幅広い内容の研究を行っています。

興味のあること・技術 PR

・圧電デバイスや強力超音波デバイスをハイパワー領域で駆動した場合の様々な非線形現象を測定・評価するため、電氣的過渡応答を用いた測定手法を開発いたしました(図1)。この測定法は JIS-R-1699-2 及び ISO-21819-2 に採用されています。

・近年、環境問題等により、クリーンな発電装置の研究が活発化しています。本研究室では、この圧電デバイスを用いて、機械的衝撃・振動による発電装置の研究を行っており、ユビキダス電源としての可能性を探究中です(図2)。

・超音波による音響放射力を用いて物体を非接触で運搬したり(図3)、非接触振動覚検査に応用することを検討しています(図4)。

特別設備

インピーダンス特性測定装置

任意波形発生装置

高速電力増幅器

高電圧電源

非接触型振動速度計

非接触型変位測定計

非接触型電流計

企業との連携実績

ハイパワー用圧電・電歪材料に関する研究

(株)リードテクノ

リラクサー系圧電材料に関する研究

(日本電気株)

圧電式衝撃振動発電装置に関する研究

(株)ユーエスシー、(株)山武

バイモルフ型圧電アクチュエータに関する研究

(ワックデータサービス株)



職名

教授

学位

博士(工学)



図1 電氣的過渡応答法による測定

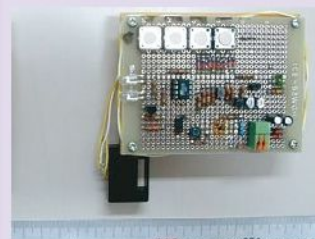


図2 圧電式自己発電型リモコン



図3 超音波による非接触運搬



図4 音響放射力を用いた振動感覚感受性の検査

高橋 章 TAKAHASHI, Akira

キーワード

コンピュータビジョン / VR / AR / MR / プログラミング

分野等

情報工学

email / URL

ataka@nagaoka-ct.ac.jp
https://www.nagaoka-ct.ac.jp/ec/labo/visu/



職名 教授

学位 博士(工学)

研究分野

1. コンピュータビジョン、画像処理、三次元形状計測
2. 人工現実感 (VR)、拡張現実感 (AR)、複合現実感 (MR)、テレイグジスタンス
3. 情報基礎教育、プログラミング教育

興味のあること・技術 PR

- ・カメラキャリブレーション、単眼カメラによる実時間三次元位置・姿勢計測など、コンピュータビジョンおよび画像処理に関する研究に取り組んできました。
- ・C/C++言語によるプログラミング、TeXによる教材作成、HTML/CSS/JavaScriptによる動的WebページやWebアプリケーション制作、情報基礎教育の教材開発の経験があります。
- ・USBメモリ活用法などを研究室のWebで発信しています。

特別設備

ヘッドマウントディスプレイ (VIVE Pro Eyeほか、図1)
マシンビジョン用カメラ、ハイスピードカメラ、全方位カメラ、魚眼カメラ等 (図2)
非接触三次元スキャナ (コニカミノルタVIVID910、図3)
立体視ディスプレイ

企業との連携実績

NAZEチャレンジ事業「中小企業向け情報資産管理システムの開発」(R03)
技術相談対応「錦鯉の三次元計測等」ほか (R03)
特許出願 (共同)「画像処理装置、画像処理方法、及びプログラム」(H22)
特許出願 (共同)「校正情報算出方法、校正情報算出装置、及び広角画像処理装置」(H21)
共同研究「画像処理による金属レリーフデータの作成」(H20)



図1 ヘッドマウントディスプレイ



図2 マシンビジョン用カメラ等

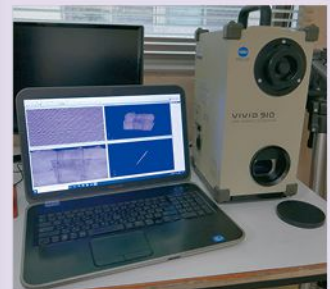


図3 非接触三次元スキャナ

外山 茂浩 TOYAMA, Shigehiro

キーワード

制御工学 / 人間工学 / 生体信号計測

分野等

制御工学、メカトロニクス、ヒューマンマシンインタフェース

email

<https://www.nagaoka-ct.ac.jp/ec/labo/cont>

研究分野

人間工学、スポーツ工学、ヒューマンインタフェース等に関する以下に示すようなテーマに取り組んでいます。

動画を用いた英語学習時の理解度の推定

画像提示時の人間の情動反応の推定

サッカー VARにおけるオフサイド判定の補助システム

選手の3次元位置を追跡するパレーボール分析支援システム

VRを活用した簡易型視覚機能評価システムの開発とスポーツ指導への応用

興味のあること・技術PR

モーションキャプチャシステム、視線解析装置、6軸モーションベースといったヒューマンセンタードデザインのための実験・解析装置が充実してきたこともあり、ヒューマンマシンインタフェースやヒューマンロボットインタラクションに関する研究を展開しています。

特別設備

【提供可能な設備・機器】

光脳機能イメージング装置Spectratech,OEG-17APD [1]

カオス分析・心拍変動解析・加速度脈波解析機能付き指尖脈波収集ツールCCI
BACS-Advance

視線追尾・視線計測装置Nac image Tech.EMR-9, DITECT View Tracker

リアルタイムモーションキャプチャ Motion Analysis MAC3D System [2][3]

筋骨格モデル動作解析ソフトウェアNac image Tech.Inc.nMotion muscularous

6軸モーションベースCOSMATE MB-150

※詳細はWEB版をご覧ください。

企業との連携実績

寄附金「プログラミング教育教材開発」(R1)

技術相談「準天頂衛星みちびきを活用した課題解決型教育」(R2)

受託研究「みちびき利活用に関するアイデアソンの展開」(R3-R5)

▷関連記事：みちびき(準天頂衛星システム)、内閣府宇宙開発戦略推進事務局



職名

教授

学位

博士(工学)



図1 Spectratech, OEG-17APD



図2 MAC3D System [2]



図3 MAC3D System キャプチャー [3]

[1] 株式会社スペクトラテック
<https://www.spectratech.co.jp/product/productOeg17apd.html>

[2][3] 株式会社ナックイメージテクノロジー
<https://www.nacinc.jp/analysis/motion-capture/>

皆川 正寛 MINAGAWA, Masahiro

キーワード

有機エレクトロニクス / 生体センシング / 医用情報工学

分野等

有機光デバイス研究室

email

m-mina@nagaoka-ct.ac.jp



職名 教授

学位 博士(工学)

研究分野

高感度かつ高精度なバイオセンサの開発に向けた有機トランジスタに関する基礎研究
自己検査結果の読み取り・送信・照合（機械学習）・フィードバック・主治医との
共有・管理を可能とするスマートフォンアプリの開発

IoT社会における「検査データに基づいたオンライン診療」を実現するための無痛
自己検査キット（血糖、細菌、ウィルス等）の研究・開発

シート状フレキシブルLSIを実現する有機C-MOSインバータに関する基礎研究

興味のあること・技術 PR

有機デバイスは、軽量、薄型、フレキシブル性に富んでおり、将来は色々な製品への応用が期待されています。当研究室では、有機半導体に秘められた発光現象や電気伝導現象を利用し、学生さんたちとディスカッションを繰り返しながら様々なアイデアに基づいた新規デバイスの研究・開発を行っています。

最近では「針を刺して採血しなくても簡単に血中のデータを調べられるといいなあ」といった次世代のセンシングデバイスの検討なども行っています。

特別設備

真空蒸着—グローブボックス—貫装置

光電子収量分析装置

微細形状測定・評価装置

走査型プローブ顕微鏡

基板温度可変真空プローブシステム

企業との連携実績

これまでに、国内大手化学メーカー様や照明機器メーカー様、車載機器メーカー様といった企業新規有機トランジスタや有機発光デバイスに関する共同研究や共同開発を実施しています。論文出版のほか、経験豊富な企業研究員と得られた成果について特許出願の検討会などを定期的に開催しています。



図1 真空蒸着—グローブボックス—貫装置



図2 光電子収量分析装置



図3 微細形状測定・評価装置

永井 睦 NAGAI, Makoto

キーワード

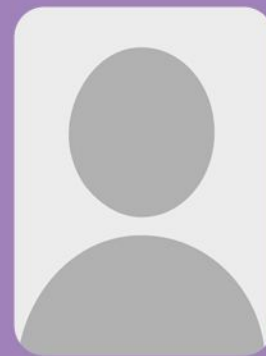
プラスチック成形 / 工業レオロジー

分野等

プラスチック成形、工業レオロジー

email

mnagai@nagaoka-ct.ac.jp



職名

准教授

学位

博士(工学)

研究分野

プラスチック成形（射出成形、ナノインプリント成形）における微細表面形状の転写性改善

射出成形用樹脂材料の高圧下におけるレオロジー測定

興味のあること・技術 PR

- ・プラスチック成形品の高付加価値化の手段として注目されている、サブミクロンオーダーの微小表面構造形成について、振動付加による転写性改善方法を検討しています。
- ・射出成形CAEのための樹脂粘度データの高精度化を目的とした試験方法の検討を行っています。1000s⁻¹以上の高ずり速度、最高100MPaの圧力下における樹脂粘度の圧力依存性評価を研究対象としています。

特別設備

超音波射出成形金型

超音波ナノインプリント成形実験機

キーエンス社 レーザ変位計

横河電気 アナライジングレコーダー AR1100

REOLOGICA社レオメータ（粘弾性測定装置）

背圧付加方式熔融樹脂流動試験機



図1 超音波射出成形金型



図2 レオメータ（粘弾性測定装置）



図3 背圧付加型熔融樹脂流動試験機

竹部 啓輔 TAKEBE, Keisuke

キーワード

ネットワーク / 教育支援システム / 学習支援システム

分野等

コンピュータネットワーク、ネットワーク応用

URL

<https://www.nagaoka-ct.ac.jp/ec/labo/comp/>



職名 准教授

学位 博士(工学)

研究分野

教育支援や学習支援をテーマとして、主にコンピュータネットワークを利用したアプリケーションソフトウェアについて研究・開発を行っています。

卒業研究では、主に教育研究機関での利用を想定したネットワークアプリケーションの開発をテーマとして指導しています。

昨年度の卒業研究テーマでは、「数理演習用学習支援アプリケーションの開発」、「留学生向け学習支援アプリケーションの開発」など、一昨年度は、「教育機関向けタイピング教材の開発」、「旅程マネジメントアプリケーションの開発」、「分散学習と想起練習を利用した短時間で記憶に残りやすい語彙学習システムの開発」などといったテーマを指導しました。

卒業研究の一環として、全国高専プログラミングコンテストにもほぼ毎年応募しています。右の写真は、5年以上前にプログラミングコンテストの本選に出場した際のデモブースの写真です。英語多読の学習を支援するため、図書館で多読図書を読んだときにその記録を簡単に登録管理できるようにするシステムの開発を指導しました。最近はなかなか予選を通過できるような作品のアイデアが浮かばず学生たちも苦戦していますが、今後も懲りずに応募していく予定です。



全国高専プログラミングコンテスト

興味のあること・技術 PR

長岡高専のネットワークシステムの管理を担当しています。校内サービス用に各種サーバの構築も行っています。

企業との連携実績

共同研究「スマートフォンを使用した除雪車の稼働記録装置の開発」(H30)

共同研究「スマートフォンを活用した車両稼働記録装置の開発と運転管理システムの適正化」(R1)

佐藤 拓史 SATOH, Hiroshi

キーワード

制御 / サポートシステム / シミュレーション / メカトロ機器

分野等

制御工学、システムインテグレーション、メカトロニクス

URL

<https://www.nagaoka-ct.ac.jp/ec/labo/syst>



職名

准教授

学位

博士(工学)

研究分野

制御工学をベースにした人間—機械系協働システムに関する研究を主体としています。

人が操作する機械システムの操作支援に関する研究

遠隔操縦ロボットに関する研究

ロボスト振動制御に関する研究

マイコンを用いた制御系に関する研究

ロボスト制御理論とその応用

興味のあること・技術 PR

制御工学をベースにしているので、制御系の構築やモデリング・シミュレーション等を得意としています。

制御工学、ロボスト制御を利用した装置や機械などの性能改善

構造物のロボスト振動制御に関する研究

数学モデルを用いた挙動解析

各種データ測定、解析

特別設備

リアルタイム制御装置 (dSPACE DS1103 : 1台、DS1104 : 4台)

遠隔操作・画像伝送システム (TPIP2 : 2台、TPIP3 : 3台)

モーションキャプチャ・システム (Microsoft Kinect V2)

サーボ加速度計 (RION LS-10C : 5台)

汎用振動計 (RION VM-83 : 2台)

企業との連携実績

長岡市地域産業技術開発事業 (フロンティアチャレンジ) (株)ナノテム



図1 遠隔操作ロボットの操作支援に関する研究



図2 天井クレーンの操作支援に関する研究



図3 遠隔操作・画像伝送システム

上村 健二 KAMIMURA, Kenji

キーワード

画像工学 / 色彩工学 / 映像処理 / 画像処理

分野等

画像工学、色彩工学、知覚画像処理、IoT、AI

email

Kamimura(at)nagaoka-ct.ac.jp



職名 准教授

学位 博士(工学)

研究分野

画像工学を中心に以下のようなテーマに取り組んでいます。

視覚特性を考慮した知覚画質向上

画像計測によるコンクリート表層品質の定量評価法の検討

人間の視覚的評価の画像計測による定量化

AI画像解析による野生動物調査

IoT活用による植物/生物のモニタリング

興味のあること・技術 PR

人間の視覚特性を生かした画像処理を中心に、IoT、AI、ネットワークなどICT関連を広く取り扱っています。前職は医療機器メーカーで、組込システム、光学プロンプなどの開発経験もあります。Matlabを利用した解析、プロトタイピングも行っていきます。

特別設備

XYZカメラ 池上通信機 ILOREAL Real True Color XYZカメラ RTC-21

ハイスピードカメラ Detect HAS-L2

超高感度1眼カメラ SONY a7S

視線追跡付HMD HTC VIVE Pro Eye

5K高精細HMD HTC VIVE Pro 2

企業との連携実績

共同受託事業「新潟県 令和3年度クマ出没把握・追い払いモデル実証（有害鳥獣被害防止総合対策事業）委託業務」（R 3）

野生動物の自動判別 AI（R1- 継続中）

IoT 実装体験セミナー（H30）

IoT 土壌モニタリングシステム（R 2- 継続中）



RTC-21



HAS-L2



a7S



VIVE Pro Eye / 2

酒井 一樹 SAKAI, Kazuki

キーワード

重力波 / データ解析 / 機械学習 / 信号処理 / AI/IoT

分野等

データサイエンス、重力波物理学

URL

<https://www.nagaoka-ct.ac.jp/ec/labo/dsci>



職名

助教

学位

博士(工学)

研究分野

主に以下の2つの研究を軸に行っています。

1. KAGRA プロジェクトへの参画

国内の重力波観測プロジェクト KAGRA に参画し、主に以下の研究を担当しています。

- ・重力波の観測データの解析手法の考案
- ・データ転送・管理システムの開発・運用

2. AI/IoT を活用したシステム構築

様々な分野に対して AI/IoT を活用したシステムを構築する研究にも取り組んでいます。

- ・自動灌水システムや栽培データ解析
- ・人体動作や生体信号の解析

興味のあること・技術 PR

ディープラーニングを始めとする機械学習や信号処理の技法を科学的課題や実問題に応用する研究に興味を持って取り組んでいます。

- ・AI を用いたデータ分析
- ・IoT によるデータ取得・管理の自動化

など、環境構築から運用まで一通り対応できます。お気軽にご相談ください。

特別設備

以下の研究設備を使って研究を行っています。

データ解析用計算サーバ

ディープラーニング用ワークステーション

栽培に関するデータ取得機器 (土壌センサ等)

IoT 用組み込みシステム開発設備 (マイコンや電子回路製作)

企業との連携実績

受託研究「小学校プログラミング教育に関する教育研究」(H29)

共同研究「自走式ロボットによる遠隔監視と制御技術の調査」(R03)

技術相談「GNSS 受信機間のパケットモニタ方法」(R03)

技術相談・共同研究「金属加工製品の AI 自動検査装置の開発」(R04)

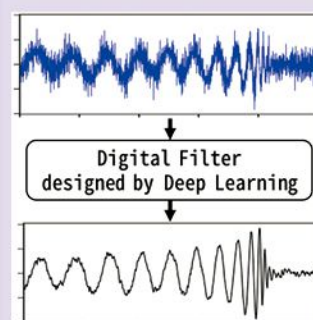


図1 重力波の観測データからノイズを除去するフィルタを自動設計する研究

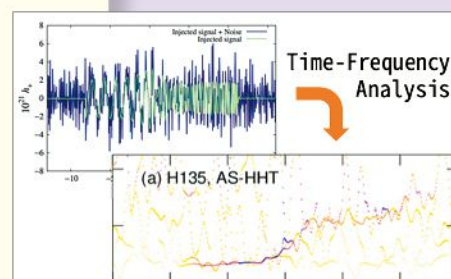


図2 重力波の観測データの特徴を時間周波数解析によって可視化する研究



図3 トマト栽培における自動灌水システムの構築に関する研究

物質工学科

本学科では、主に材料工学と生物工学について研究しています。近年、化学工業は化学の知識を基に、新しい機能を有する材料の開発と生産や環境にやさしい技術へと変化しています。それらに伴い生物のもつ巧みな機能を応用する試みも数多く行われています。このような社会の情勢の変化に適応し、より高度で幅広い知識と技術を持つ技術者の育成のために、化学工学系、物理化学系、生物工学系などの専門知識を有する教員が在籍しています。

WEB 版
教員プロフィール



菅原 正義 SUGAWARA, Masayoshi

キーワード

難消化性成分 / 食品機能 / 食物繊維機能

分野等

食品科学

email

suga@nagaoka-ct.ac.jp



職名

教授

学位

博士(農学)

研究分野

難消化性食品成分の生理的機能性評価と加工。

過去には、玄米の吸収率の向上、ワサビの成分比較分析、硬くならないアルファ米の開発を行いました。

研究テーマは、「玄米の米粉開発とその生理機能性の確認」です。食品中に含まれる「体に良い成分」、特に食物繊維などの難消化性成分に関する研究を行っています。これらの成分は、以前、栄養素の吸収を邪魔する成分、食品をまずくする成分として、除去されてきました。そうすると世界中に生活習慣病が広がり大きな社会問題となっていました。医療費が足りなくなり、生活習慣病の予防と改善の切り札として、以前除去されてきた食品成分が注目され始めました。これらの食品成分がより働きやすくなるような加工や調理、生理的機能性の評価とメカニズムの解明に関する研究を行っています。

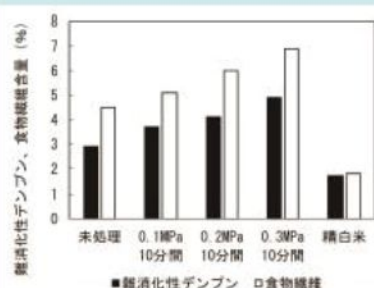
興味のあること・技術 PR

難消化性成分（食物繊維、難消化性デンプンなど）の生理的機能性（特に腸内細菌叢への影響や栄養素の消化吸収への影響）の動物実験による評価。より機能性が向上する加工。

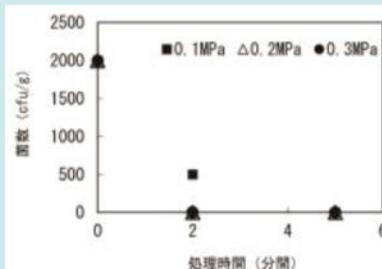
食品機能関係の共同研究も興味があります。お声がけください。

企業との連携実績

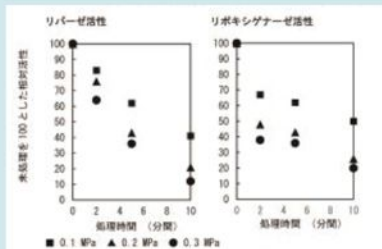
食品企業（明治、ブルボン）等多数



玄米の生理機能性難消化成分の変化



玄米の菌数の変化



玄米のリパーゼ、リボキシゲナーゼ活性の変化

白米・玄米・湿熱処理玄米の分析値

成分	コシヒカリ 白米	越のかがり 玄米	越のかがり 玄米+湿熱処理
総デンプン量 (%)	88.5	79.2	78.9
食物繊維量 (%)	0.2	4.5	5.1
難消化性デンプン量 (%)	0.6	2.9	3.3
デンプン消化速度*	85.6	36.7	32.0
水分 (%)	10.7	8.1	7.9
タンパク質量 (%)	4.6	6.2	5.6
粗脂肪量 (%)	0.3	2.4	2.1
灰分 (%)	0.4	1.4	1.4

* α-コングスターチの消化速度を100とした時のデンプン消化速度

村上 能規 MURAKAMI, Yoshinori

キーワード

活性種 / 反応機構 / 光化学 / 微細気泡

分野等

物理化学、反応工学

email

murakami_mb@nagaoka-ct.ac.jp



職名 教授

学位 博士(工学)

研究分野

1. 新規光触媒の開発及び光触媒反応機構の研究

各種光触媒の反応機構に関する基礎研究に加え、過酸化水素、水素等の光化学エネルギー変換が可能な光触媒材料の開発に関する研究も始めました。

2. ファインバブルと超音波の相互作用に関する研究

マイクロバブルと超音波を当てることで起こる現象に関する研究、ナノメートルで長時間存在するといわれているウルトラファインバブルに関する研究を実施しています。

3. レーザ、プラズマプロセスによる低環境負荷新規材料開発

レーザ集光、水中でのプラズマ発生等での新規材料合成、また、低環境負荷の新規反応プロセスの構築を目標として研究を続けています。

興味のあること・技術 PR

各種分光法を用いた活性酸素の検出

量子化学計算による反応機構検討

レーザを用いた材料プロセス設計

レーザを用いたナノ微粒子検出

微細気泡に関連する基礎研究

特別設備

紫外可視分光光度計

フーリエ変換赤外分光光度計

蛍光光度計

超音波発振器

各種レーザ

水中プラズマ発生器

オゾン発生器

企業との連携実績

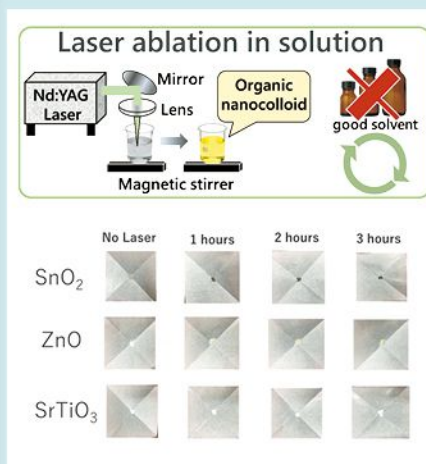
企業との連携の実績はありますが、公表は事情により不可



光触媒の応用事例



微細気泡の特徴



レーザアブレーションによる材料合成

田崎 裕二 TASAKI, Yuji

キーワード

食用キノコ / 清酒酵母 / 微生物分離

分野等

応用微生物学、分子生物学

URL

<https://material.nagaoka-ct.ac.jp/staff/yuji-tasaki/>



職名

教授

学位

博士(農学)

研究分野

食用キノコの香り成分生成機構に関する研究

酵母が生成する香り成分・機能性成分に関する研究

清酒酵母の育種開発に関する研究

自然界から有用微生物(酵母、麹菌、乳酸菌)の分離と応用に関する研究

興味のあること・技術 PR

細菌・菌類(糸状菌と酵母)のタンパク質・遺伝子に関する基礎的な研究技術

小スケールの清酒醸造試験と成分分析

キノコの子実体発生の技術

香り成分の同定・定量

特別設備

植物環境制御装置人工気象器(図1、2台、キノコの子実体発生実験や米麴の製造に使用)

小スケールの清酒醸造試験における一連の実験設備

分子生物学的(遺伝子操作)実験を実施する上での一般的な設備

企業との連携実績

新潟県内の酒造メーカーと連携して、自然界から分離した酵母を用いた清酒を開発した。今後も継続して、同社と清酒酵母の育種開発、分離麹菌・乳酸菌の実用化を実施する予定である。



図1 植物環境制御装置人工気象器

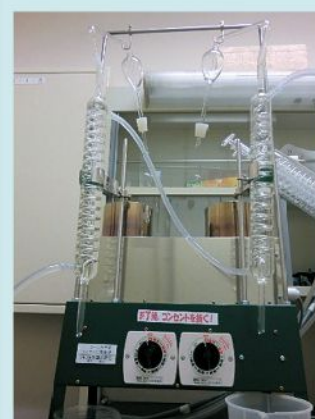


図2 分析蒸留機(清酒のアルコール度を測定する前処理に使用)



図3 振動式密度計(清酒のアルコール度と日本酒度を測定するために使用)

荒木 秀明 ARAKI, Hideaki

キーワード

エネルギー関連材料 / 薄膜太陽電池 / 硫化物

分野等

材料科学、電子材料、応用物理学

email

h-araki@nagaoka-ct.ac.jp



職名 教授

学位 博士(工学)

研究分野

「エネルギー関連材料の物性とその応用」をテーマに、硫化物を中心に新しい化合物半導体薄膜を用いた太陽電池の開発に取り組んでいます。

太陽電池デバイスの開発は、新しい半導体材料の開発とともに、真空プロセスや溶液プロセスなどの製膜技術と、材料の構造・組成分析、光学的・電気的特性評価などの評価技術の集大成です。これらの技術の新しい分野での活用も目指しています。

興味のあること・技術 PR

硫化物（バルク・薄膜）の作製

化合物半導体材料の構造・組成・光学特性などの評価

低温電解による高水素濃度金属試料（PdH、D系）の作製

特別設備

真空製膜装置（抵抗加熱、電子線加熱、スパッタ）

硫黄クラッキングセル付き多元硫化物製膜装置

ブリッジマン結晶育成炉

加熱機構付きラマン分光装置

走査型電子顕微鏡（SEM JSM-6060LV、SEM-EDX JSM-6360LA、学科共通機器）

走査型波長分散傾向 X 線分析装置（Rigaku ZSX Primus IV、学科共通機器）

企業との連携実績

二次元層状物質 MoS_2 薄膜の形成

金属めっき膜の硫化による薄膜太陽電池の開発



硫黄クラッキングセル付き多元硫化物製膜装置

クラッキング硫黄分子線を用いた多元素同時蒸着による硫化物薄膜の作製ができ、Kセルのほか、電子線蒸着による高融点材料との同時蒸着も可能です。



走査型電子顕微鏡（SEM:JSM-6060LV、SEM-EDX:JSM-6360LA）学科共通機器

含水物の凍結観察を含め様々な試料の電子顕微鏡観察や組成分析が可能です。



走査型波長分散蛍光 X 線分析装置（Rigaku ZSX Primus IV）学科共通機器

ポイント・マッピング分析が可能で固体、液体、粉末、合金、薄膜の元素分析が可能です。

赤澤 真一 AKAZAWA, Shin-ichi

キーワード

ミミズ / 血栓分解酵素 / 圧力 / バイオ医薬品 / 新規モデル生物・宿主開発 / 代替タンパク質・代替肉 / 細胞培養 / 持続可能性社会

分野等

微生物化学研究室

URL

<https://material.nagaoka-ct.ac.jp/staff/shinichi-akazawa/>



職名 教授

学位 博士
(バイオサイエンス)

研究分野

「ミミズには無限の可能性がある!」をテーマにミミズが有する様々な機能を活用し、バイオインダストリーへの展開を目的とした研究を行っています。ミミズには強力なバイオマス糖化酵素や血栓分解酵素が含まれており、これらの酵素は産業上非常に有用です。また、血栓症予防の観点から血栓分解能力を活かした健康食品を開発し、国内外で多数の特許を取得しています。さらに、ミミズを用いたバイオ医薬品・異種タンパク質生産を目指した全く新しい研究やタンパク質不足を補う新しいタンパク質源としての開発にも取り組んでいます。これらの研究を通して、エネルギー資源や人に貢献する研究を産学連携で精力的に行っています。

興味のあること・技術 PR

興味のあること: ミミズを活用した研究全般 (養殖、肥料、酵素、代替肉、宿主開発)、ミミズを活用した地域バイオコミュニティの形成等。

保有技術: 酵素精製、遺伝子クローニング、食品中の機能性成分の探索、香り成分の分析、圧力処理試験等幅広く実施可能。カビ、酵母、細菌等取扱い可 (遺伝子工学技術含む)。GC-MS、NMR、IR 等の活用。

キーワード: 「応用化学から分子生物学まで」

専門分野: 応用生物学、分子生物学、酵素工学、天然物有機化学。

特別設備

マイクロインジェクター	細胞培養設備
マニピュレーター	CO ₂ インキュベーター
実体・倒立・蛍光顕微鏡	マイクロプレートリーダー
タンパク質精製装置	ビードピーター (細胞破碎装置) (2台)
微量高速冷却遠心機 (2台)	凍結乾燥機
中型バイオシェーカー (2台)	エバポレーター (2台)
低温・恒温インキュベーター (複数)	PCR 等
人口気象器	

共通機器: 高圧装置、GC-MS、IR、クリーンベンチ等

企業との連携実績

株式会社ミヤトウ野草研究所	長岡緑地環境協同組合
越後製菓株式会社	ワキ製菓株式会社
株式会社笠原建設	株式会社スケアクロウ 等

ミミズの多様な機能性を人の健康・バイオマス利活用・食糧増産に活用する

- 多様なバイオマス資化・消化性酵素の活用
 - 持続可能なバイオマス資源の利活用
- 強力な血栓分解酵素の活用
 - サプリメント開発で予防医療に貢献
- 新規物質生産宿主・タンパク質源としての開発
 - ミミズでイノベーション

「ミミズ=土壌の肥活化」だけではない!

新規物質生産宿主としての開発 -異種遺伝子発現系の構築-

生物が元々持っていない遺伝子を遺伝子工学的手法により導入し、新しい形質をもたせ、有用物質を生産させる宿主としてミミズを活用する。

異種遺伝子発現系によって生産されているもの

- 洗剤
- アミラーゼ
- タンパク質分解酵素
- セルラーゼ
- セルロース分解酵素
- リパーゼ
- 脂肪分解酵素
- 膵臓病
- インスリン
- 抗ガン剤
- ガン

一般的な生産法

ここからミミズに遺伝子導入

DNA + 微生物 → 遺伝子導入された微生物 → タンパク質生産 → 精製タンパク質

2017年日本生化学会大会「大会トピックス」に選定
2019年度第17回農薬化学研究企画賞を受賞(高専初)

プレラボ活動 -低学年参加型教育研究-

研究テーマ

- ① ミミズ液体肥料の安定性の検討。
- ② トマト栽培における液肥の肥料効果の検討。
- ③ ミミズを核とした樹木チップの資源化方法の開発

ラボ生以外にも多数参加!

地域貢献も目指しています

細貝 和彦 HOSOGAI, Kazuhiko

キーワード

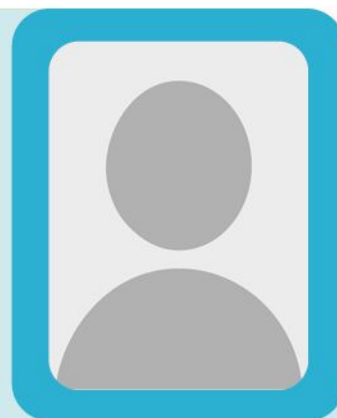
反応工学 / ポリマービーズ / ポリマー微粒子 / 化学実験

分野等

反応工学

email

khosogai@nagaoka-ct.ac.jp



職名 准教授

学位 博士(工学)

研究分野

●反応工学関連

- ・重合反応におけるポリマービーズの製造技術の開発及び検討
- ・重合反応におけるポリマー微粒子の開発及び検討
- ・材料物性の測定技術の開発及び検討
- ・反応器における反応物質の拡散シミュレーション

●リモート学習の化学実験関連

- ・リモート学習に対応する化学実験の構築と検討

興味のあること・技術 PR

重合反応により、ポリマー粒子の種々の機能化技術を検討すること

反応器内の反応物質の反応性を拡散シミュレーションから解析すること

簡易な材料物性の測定技術の開発

リモート学習に対応する化学実験の構築とその効果

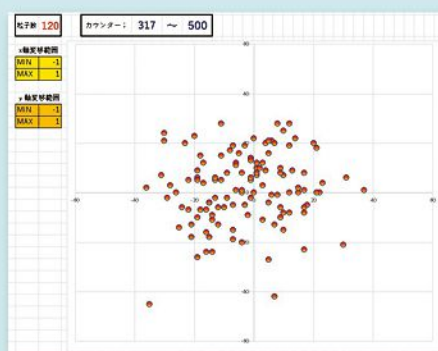


図 反応器内の反応物質の簡単な拡散シミュレーション



図 リモート学習に対応する PC における秤量画面



図 リモート学習に対応する PC における中和滴定画面

小出 学 KOIDE, Manabu

キーワード

機能性ガラスおよびセラミックスの開発 / 新規焼結技術の確立

分野等

無機工業化学研究室

email

koide@nagaoka-ct.ac.jp



職名

准教授

学位

博士(工学)

研究分野

焼結法を用いた新規機能性ガラスの開発

(新規イオン伝導性ガラスおよび機能性分子導入ガラスの開発)

プラズマ放電焼結法を用いた新規高硬度材料の開発

(高硬度、高破壊靱性材料の開発、マトリックスの焼結技術の確立)

興味のあること・技術 PR

環境、エネルギー問題に関連したガラスおよびセラミックスの研究開発を行っています。特に、プラズマ放電焼結法 (SPS法) を用いて、これまで作製が困難であった難焼結材の作製と機能性の制御の可能性を検討しています。さらに、作製した試料の材料物性の評価を行い、実用化に向けた更なる性能向上を目指しています。

特別設備

電気炉 スーパーバーン (1600°C常用)

熱分析装置 リガク 熱機械分析 (TMA)

X線回折装置 リガク XRD

遊星ミル フリッチェ

企業との連携実績

株式会社シンターランド

●中小企業庁

- ・平成30年度中小企業経営支援等対策費補助金 (戦略的基盤技術高度化支援事業) に係る補助事業 (サポイン)
- ・事業名「放電プラズマ焼結技術による航空宇宙分野用大口径遠赤外光学レンズの開発」

●経済産業省・中小企業庁

モノづくり補助金 (3件)

- ・H25年度「放電プラズマ焼結技術 (SPS) 用新素材の焼結金型の開発」
- ・H26年度「放電プラズマ焼結法 (SPS法) による助剤無添加TiB₂およびTiNの量産技術の開発」
- ・H29年度「極性反転型直流パルス電源を有する放電プラズマ焼結装置の開発」

●長岡市

- ・長岡市産学金連携研究開発補助金 (H28-H29)
- ・「放電プラズマ焼結法 (SPS) による助剤無添加黒鉛金型の開発」



図1 電気炉 (1600°C常用)



図2 熱機械分析装置 (TMA)



図3 X線回折装置



図4 プラズマ放電焼結装置

河本 絵美 KAWAMOTO, Emi

キーワード

代謝 / 糖尿病 / 運動・スポーツ / 不活動 / 栄養 / ミネラル / 機能性食品

分野等

生理学 / 生化学

email

kawamoto@nagaoka-ct.ac.jp



職名 准教授

学位 博士(保健学)

研究分野

代謝を制御する栄養因子の探索と応用に関する研究
→運動パフォーマンス向上に繋がるサプリメント開発
→病気の予防に貢献する栄養処方提案

加齢や不活動が病気を誘発するメカニズムの解明とその防止法の検討
→サルコペニアや糖尿病等の病気の予防・改善に貢献
→身体活動の有用性を科学的に証明

食品の機能評価

→安全でおいしいオリジナルの製品開発

興味のあること・技術 PR

●実験動物を用いた生理学的な評価

運動試験

経口投与試験や高脂肪食等の栄養素摂取試験

非代謝性グルコースを用いた糖取り込み測定

タンパク質発現量および局在の測定

筋や血液の代謝産物の評価

●食品素材を用いた生化学的な評価

ミネラル成分の解析

食品の代謝産物評価

腸内細菌の変動

α -グルコシダーゼ等、酵素活性評価

特別設備

分光光度計 (UV2500, SHIMADZU)

蛍光光度計 (RF5300, SHIMADZU)

超遠心分離装置 (Optima TLX)

糖取り込み速度測定用設備

タンパク質発現測定用装置

マウス / ラット用トレッドミル装置 (TMS-4BA)

動物飼育施設



図1. 電気泳動装置 (バイオラッド)



図2. 超遠心分離装置 (ベックマン・コールター・ジャパン)



図3. マウス / ラット用トレッドミル装置 (メルクエスト)

奥村 寿子 OKUMURA, Hisako

キーワード

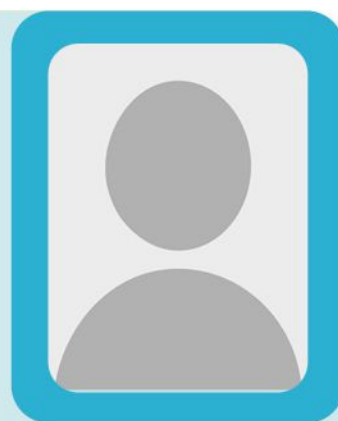
有機分析 / 機器分析 / クロマトグラフィー / ポリフェノール / カテキン

分野等

有機分析、機器分析、分光測定、食品成分分析

email

okumura@nagaoka-ct.ac.jp



職名

准教授

学位

博士(工学)

研究分野

タンニン、ポリフェノール成分の化学分析
低分子ポリフェノールの簡易測定法の開発
液体クロマトグラフィーによる分離精製
植物由来廃棄物を用いた工業材料の作成
色素成分の色彩保護と計測に関する研究
植物含有成分の代謝解析

興味のあること・技術 PR

植物、食品関係の廃棄物の有効利用に関する研究に興味があります。研究対象としては、特に新潟県や近隣地域の特産品に関する研究に取り組んでいきたいと考えています。研究室では、以下のような実験が可能です。

有機成分の定量分析
成分の分離・抽出・構造解析
食品成分の抗酸化能測定
一次代謝成分分析

特別設備

高速液体クロマトグラフィー (各種検出器)
質量分析計 (LC-MS/MS、DART-MS)
マイクロプレートリーダー
ガスクロマトグラフ - 質量分析計 (GC-MS/MS)
分取用液体クロマトグラフィー (分取 LC)
核磁気共鳴装置 (NMR)
以上、共用設備

企業との連携実績

低温乾燥杉に含まれるギ酸・酢酸の定量
米粉の粒度分布解析、でんぷん損傷度、糖度解析、食物繊維量の測定、米ぬか成分の分析
ワサビ辛み成分の測定
市販飲料(お茶、コーヒー、ジュース等)に含まれる機能性成分測定
食品の抗酸化測定
食品の色度測定



トリプル四重極型 LC-MS/MS システム



各種高速液体クロマトグラフィーおよび分取 LC システム

宮田 真理 MIYATA, Mari

キーワード

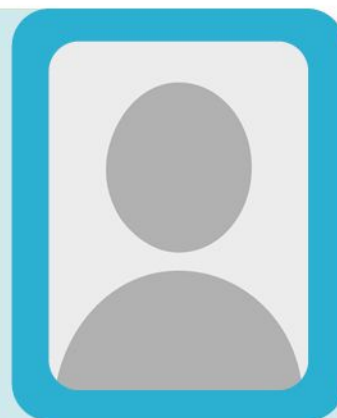
機能性高分子 / 超分子 / 合成化学 / 複合材料

分野等

機能性高分子、超分子、合成化学

email

miyata-m@nagaoka-ct.ac.jp



職名 准教授

学位 博士(工学)

研究分野

高機能性材料の開発と環境調和型合成プロセスに関する研究を主に行っています。

- ・再生可能資源を活用した機能性材料の開発
- ・相互作用を利用した分子配列制御法の開拓
- ・生体高機能材料の開発と簡易合成法の開拓

興味のあること・技術 PR

高機能性材料の開発は、画期的な“ものづくり”であり、省エネルギー化を目指した環境調和型の材料開発プロセス設計や環境に優しい高機能スマート材料の開発に取り組んでいます。

関連分野は多種多様であり、材料開発に分子設計から取り組むことで、これまででない高機能化を達成した材料開発が可能になります。外部刺激に応答する機能性素材の開発や高機能膜材料に関する研究も行っています。

材料開発の過程で必要な物性評価等の解析も行います。

特別設備

- ・核磁気共鳴装置
- ・元素分析装置
- ・高速液体クロマトグラフ分析装置
- ・各種光度計 (フーリエ変換赤外分光光度計 (赤外顕微鏡付き)、紫外可視分光光度計、分光蛍光光度計)
- ・熱分析装置
- ・X線回折装置
- ・走査型電子顕微鏡
- ・真密度測定装置
- ・水晶振動子測定システム など

企業との連携実績

特に専門とする高分子材料や合成化学に関する知見を通して企業が抱える製品の問題や課題を探り、問題の原因究明や課題を解決へ導いたサポート実績があります。



核磁気共鳴装置



高速液体クロマトグラフ分析装置



熱分析装置



X線回折装置

熱海 良輔 ATSUMI, Ryosuke

キーワード

再生可能エネルギー / 触媒反応器 / ダイナミックシミュレーション

分野等 化学工学、エネルギー工学、触媒化学、機械学習

email r-atsumi@nagaoka-ct.ac.jp



職名 助教

学位 博士(工学)

研究分野

化学工学を中心に研究を展開しており、再生可能エネルギーと水素エネルギーの研究に取り組んでいます。最近、機械学習を活用した新しい化学工学の研究に取り組んでいます。

また、再生可能エネルギー関連の研究では、現実の気象データおよびシミュレーションを、プロセスシミュレータと連携させて、プロセスシステムの設計・制御に利用可能なシミュレーション技術の開発に取り組んでいます。

触媒調製・実験も得意ですので、お気軽にご相談ください。

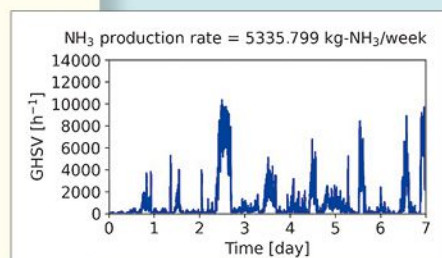


プロセスシミュレーション

興味のあること・技術 PR

プロセスシミュレーション技術、プログラミング技術を有しており、モデルベースの設計・研究が可能です。企業との共同研究の一環で材料評価試験装置作製にも取り組んでおり、簡単な治具であれば3Dプリンタで作製します。

また、昨年度より第一原理計算、再生可能エネルギー発電量シミュレーションにも着手しております。



グリーンアンモニア製造プロセスの動的シミュレーション

特別設備

プロセスシミュレータ

吸着試験装置

局所廃棄設備

触媒調製用設備

光触媒評価試験装置 等々

各種評価試験装置は設計・製作可能ですので、別途ご相談ください。



気象観測システム

企業との連携実績

東日本の大手化学メーカーとの共同研究実績があり、材料試験における装置試作・評価に取り組んでいます。評価試験装置は材料に合わせて特別に設計しております。

環境都市工学科

本学科では、構造、材料、河川・海岸、地盤・土質、環境、都市計画などの社会基盤や土木技術について研究しています。あたりまえで便利な社会生活を送るためには、道路・鉄道・電気・ガス・上下水道・通信などの社会基盤が必須で、整備と維持管理の重要性は年々増加しています。また、近年は地震・津波・水害・土砂災害・雪害など命や生活にかかわる災害が頻繁に発生しており、防災・減災に関わる分野の研究や技術は重要性を増しています。そのため、将来を担う技術者育成のために、社会基盤や土木技術の専門知識を有する教員が在籍しています。

WEB版
教員プロフィール



陽田 修 YOUDA, Osamu

キーワード

コンクリート施工 / 土木施工 / 施工技術 / インフラ維持管理

分野等 土木施工、コンクリート構造物

email youda@nagaoka-ct.ac.jp



職名 教授

学位 博士(工学)

研究分野

コンクリート構造物の表層品質向上を目的とした施工方法の研究

コンクリート表層品質評価に関する研究

コンクリート構造物の点検技術に関する研究

土木工事の施工管理技術に関する研究

左官技能（コンクリート仕上げ）に関する研究

道路舗装の維持修繕計画に関する研究

興味のあること・技術 PR

新潟県内の建設会社において20年以上の現場経験があります。建設技術者が抱える身近な技術課題の解決に取り組んでいきたいと考えています。建設技術者の技術力向上及び技能継承は、社会資本が中心となる土木構造物の品質及び耐久性を向上するとともに生産性の向上に繋がります。

課題解決、技術力向上、技能継承の手段を一緒に考えて行きたいと思っておりますのでお声かけください。

特別設備

表層透気試験機（トレント法）

超音波測定器（パンジット PL-200）

表面電気抵抗測定器（レジポッド）

R Cレーダー（ストラクチャスキャン SIR-EZ）

ホロレンズ2（Microsoft）

企業との連携実績

一般社団法人新潟県コンクリートメンテナンス研究会とのコンクリート施工技術に関する共同研究

藤村クレスト株式会社とのコンクリート品質評価手法に関する共同研究

新潟県コンクリート品質確保ガイドライン(案)試行に関わる新潟県コンクリート品質確保アドバイザー

建設技術者のリカレント教育【REIM長岡高専インフラメンテナンス講習会】講師



コンクリート締固め技能視線計測



コンクリート表層品質評価法開発



左官技能に関する研究

井林 康 Ibayashi, Kou

キーワード

社会基盤 / 維持管理 / コンクリート工学 / 橋梁工学

分野等

社会基盤維持管理工学研究室

email / URL

ibayashi@nagaoka-ct.ac.jp
https://kinpoku.nagaoka-ct.ac.jp/ci/ibayashi/

研究分野

1. 自治体または外国向けの橋梁点検システムの構築と検証
2. 市民参加型の構造物点検システムの構築
3. AIによる損傷判定支援・LiDARスキャナによる3Dスキャン等の点検高度化手法の開発
4. 橋梁やトンネル等の構造物の調査および点検結果の分析
5. インフラデータ地図プラットフォームの構築
6. 既存構造物の損傷調査と新設コンクリート構造物の施工マネジメント

興味のあること・技術 PR

様々な社会基盤構造物の維持管理技術や、建設技術を社会実装することに興味があります。

平成23年から当方で構築を開始し、令和元年度から新潟市に正式導入されたタブレット端末利用の小規模橋梁点検システムは、令和5年度までの5年間で、約4億円のコスト圧縮効果があり、今後、構造物管理者における社会基盤構造物の維持管理コストの枠組みを、大きく変える可能性を秘めています。

また、山口県からスタートした新設コンクリート構造物の表層品質確保の取り組みでは、平成25年から開始された東北地方整備局の復興道路・復興支援道路建設の際のコンクリートの手引きの構築に関わり、現在は国土交通省北陸地方整備局や新潟県で実装するための支援を続けています。

国土交通省の「新技術活用システム (NETIS)」や、新潟県の「Made in 新潟新技術普及・活用制度」にも精通しております。

令和元年度から始まったKOSEN-REIM (高専レイム) 事業では、インフラの点検・維持管理技術に関する社会人教育の取り組みを進めています。また、一般市民向けに、インフラに興味をもってもらう取り組みも進めています。

特別設備

表面吸水試験装置 (SWAT、丸東製作所)
コンクリートテストハンマー (三洋試験機工業NSR)
コンクリート水分計 (ケットHI-520)
タブレット端末 (アップル iPad各種20台程度)
スマートフォン (アップル iPhone各種)

企業との連携実績

- 構造物点検システム関連**：首都高技術(株)、(株)建設技研インターナショナル、大日本コンサルタント(株)、(株)本間組
- 構造物施工・製品製造支援システム関連**：(一社)北陸土木コンクリート製品技術協会、佐藤工業(株)
- 劣化構造物調査・整理関連**：国土交通省北陸地方整備局、大日本コンサルタント(株)



職名 教授

学位 博士(工学)



図1 タブレット端末を用いた小規模橋梁点検の効果の検証

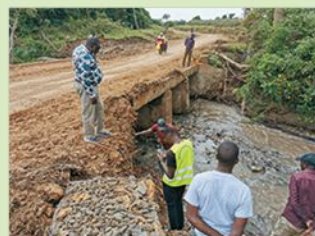


図2 開発途上国における橋梁点検・維持管理の技術支援



図3 表面吸水試験装置 (SWAT) を用いたコンクリートの品質調査

村上 祐貴 MURAKAMI, Yuki

キーワード

コンクリート工学 / 維持管理 / 劣化診断 / 補修・補強技術 / 技能継承 / 地域資源循環

分野等

コンクリート工学研究室

email / URL

y-murakami@nagaoka-ct.ac.jp
https://kinpoku.nagaoka-ct.ac.jp/ci/ymurakami/index.html



職名

教授
校長補佐（研究推進担当）
地域創生教育研究推進室長

学位

博士(工学)

研究分野

RC 構造物の品質評価・向上

RC 構造物の補修・補強工法

技能継承

地域資源循環

興味のあること・技術 PR

●興味のあること

1. 産業分野の熟達者の技能の形式知化に取り組んでおります。技能継承でお困りごとがあれば、建設分野に限らず是非ご相談ください。
2. コンクリートの表層品質評価に関する研究に取り組んでおります。広域かつ高精度に評価したいなど、興味がありましたらお気軽にお問い合わせください。

●技術 PR

1. コンクリートの各種強度試験
2. コンクリートの疲労試験
3. コンクリートの塩化物イオン分析
4. 視線解析等、技能の可視化
5. コンクリートの表層品質評価

特別設備

1000kN 万能試験機

200kN 疲労試験

環境試験室（温度：-30℃～+80℃ 湿度：20%～95%）

電量滴定式塩分計

イオン分析計

視線計測装置

圧力分布測定システム

企業との連携実績

●コンクリート材料、点検、補修補強関連

福田組様、ネクスコ・メンテナンス新潟様、エヌエスエス様、長岡砂利組合様、太平洋マテリアル様

●技能継承関連

ダイアテック様、エヌシーイー様、キタック様、大日本コンサルタント様、開発技建様、ネクスコ・エンジニアリング新潟様、富士ピー・エス様

●資源循環関連

プラントフォーム様、柏露酒造様



図1 1000kN万能試験機



図2 視線計測装置



図3 圧力分布測定

田中 一浩 TANAKA, Kazuhiro

キーワード

水道水 / 地下水 / 河川水 / 衛生工学 / 上水道 / リサイクル / 廃棄物

分野等

衛生工学、上水道、リサイクル、廃棄物

email

kztanaka@nagaoka-ct.ac.jp



職名

准教授

学位

博士(学術)

研究分野

浄水過程で使用される塩素は、原水中の有機物と反応して、トリハロメタン等の有機ハロゲン化合物を生成します。これらは人間の健康に直接影響する重要な問題です。

水道の水源として表流水が多く利用されており、その割合は年間総取水量の7割に及びます。河川には多種多様な排水が流れ込み、水道水質を悪化させています。

安全な飲料水を供給するための手段として、「浄水処理法の改善」・「原水水質を向上させること」の2つの方法が挙げられます。

以下にテーマを列挙しました。

水道水質に影響を与える要因

水質の改善方法、技術的なもの、社会的なもの

有機系廃棄物の有効利用



イオンクロマトグラフ

興味のあること・技術 PR

水・環境・リサイクル・農業といった分野で課題・話題等がございましたら、情報をいただけませんかでしょうか。一緒に勉強させていただきたいと思います。

特別設備

イオンクロマトグラフ、dionex、ICS-2100

企業との連携実績

まちなかキャンパス長岡

まちなか大学分科会委員

まちなかキャンパス長岡

まちなか大学大学院講師

衛藤 俊彦 ETO, Toshihiko

キーワード

密度流 / 数値計算 / 煙型雪崩 / 泥水流 / 吹雪

分野等

数値流体力学

email

eto@nagaoka-ct.ac.jp



職名

准教授

学位

博士(工学)

研究分野

密度流の三次元流動解析

泥水流の発生と発達過程の研究

煙型雪崩の数値シミュレーション

吹雪流の数値シミュレーション

興味のあること・技術 PR

- ・密度流の流動解析に関する研究に取り組んでいます。
- ・吹雪、泥水流や塩水くさびなどの密度流現象について、数値シミュレーションに取り組んでいます。
- ・煙型雪崩について、実地形を対象とした数値シミュレーション及び結果の可視化による流動範囲の予測を行っています(図1)。

特別設備

二次元造波水路 (全長20m) (図2)

傾斜可変開水路 (全長7m) (図3)

企業との連携実績

実地形を対象とした煙型雪崩の流動シミュレーション (日本サミコン株式会社)

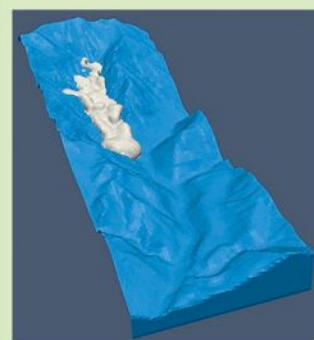


図1 雪崩のシミュレーション例



図2 二次元造波水路



図3 傾斜可変開水路

山本 隆広 YAMAMOTO, Takahiro

キーワード

数値シミュレーション / GIS 技術

分野等

水文学、河川工学、水資源工学

email

yamamoto@nagaoka-ct.ac.jp



職名 准教授

学位 博士(工学)

研究分野

水文学、河川工学、水資源工学に関する以下に示すようなテーマに取り組んでいます。

リアルタイム洪水危険度・水害危険度評価手法の開発

荒廃化する森林や農地の観点からの河川管理の在り方の検討

中小河川に適用可能な降雨流出モデルの開発

物理的な分布型水文モデルの開発

興味のあること・技術 PR

コンピュータを用いた数値シミュレーション技術を得意としています。有料ソフトウェアを使わずに、オープンソースを活用して解析を行っています。そのため、さまざまな解析に柔軟に対応することが可能です。また、気候・気象データの解析も得意としています。

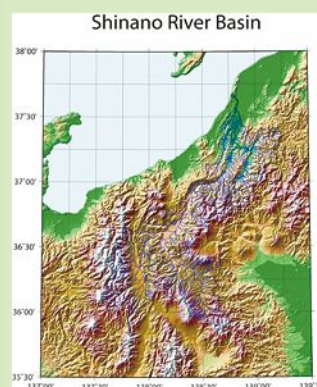


図1 分布型水文モデル

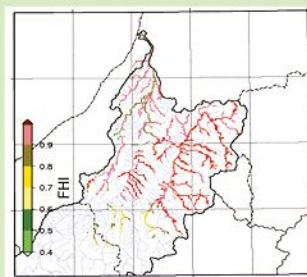


図2 リアルタイム水害リスクのイメージ

川上 周司 KAWAKAMI, Shuji

キーワード

水環境工学 / 衛生工学 / 下水処理 / 浄化槽 / 環境微生物工学 / 遺伝子工学 / 深層学習

分野等

水環境工学研究室

email

shuji@nagaoka-ct.ac.jp



職名 准教授

学位 博士(工学)

研究分野

排水処理システム内の微生物相解析

シングルセルレベルでの微生物検出技術

水面画像を用いたBOD予測システム

排水処理システムの遠隔管理

興味のあること・技術 PR

●興味のあること

1. 排水処理システムにおける微生物情報を現場に返せる形で具現化できないか考えております。高度な機器や技術を有しなくても、誰も現場で使える技術の確立を目指しています。
2. 排水処理システムや河川等の維持管理を遠隔で実施する技術開発を行なっています。

●技術PR

1. Miseq、Nanopore (図1) を用いた遺伝子解析に基づく微生物同定技術
2. DNA抽出を伴わない微生物同定技術の開発
3. 浄化槽の水面画像から処理BODを予測する技術

特別設備

Real-time PCR (図2)

細胞分取用マイクロマニピレーター

位相差顕微鏡

ガスクロマトグラフ

イオンクロマトグラフ (図3)

企業との連携実績

●微生物解析関連

- ・株式会社トーエネック様
- ・(公社) 徳島県環境技術センター様

●排水処理の維持管理関連

- ・(公社) 徳島県環境技術センター様
- ・株式会社ガイアパワー様



図1 Nanopore シーケンサー



図2 real-time PCR装置



図3 イオンクロマトグラフ

白井 一義 SHIRAI, Kazuyoshi

キーワード

橋梁点検・診断 / インフラ維持管理 / 社会人教育

分野等

社会基盤メンテナンス、リカレント教育

email

<https://www.nagaoka-ct.ac.jp/reim/>



職名 助教

学位 博士(工学)

研究分野

インフラメンテナンスのためのリカレント教育事業「REIM長岡高専」の運営
社会人を対象としたインフラメンテナンス講習会「基礎編（橋梁点検）」「応用編（梁点検）」他の開催

上記講習会のための教材開発

市民向け啓発活動、市民講座の開催

興味のあること・技術 PR

- ・若手や異分野出身の土木技術者に、橋のしくみや劣化の機構、点検のポイントを分かりやすく教えます。
- ・eラーニングと短期間の集合研修により、仕事への影響を最小限にして効果的・効率的に学べます。
- ・10名以下の少人数制で、理解度に合わせた講習を行います。

特別設備

劣化した橋梁から切り出した実物教材を集めた「実習フィールド」

コンクリート構造物の非破壊検査機器
(電磁波レーダ、リバウンドハンマー、サーモグラフィ)

企業との連携実績

- ・2022年から講習会を本格開催しており、建設会社、調査会社、自治体、その他の皆様から受講いただいています。
- ・講習会日程、受講料など詳しい情報は上記URL、または「REIM長岡高専」で検索してアクセスを。お申し込みもWEBからどうぞ！



インフラメンテナンス講習会実施状況

小島 由記子 KOJIMA, Yukiko

キーワード

自然災害 / 災害軽減工学 / 防災工学 / 地震工学

分野等

地震防災研究室

email

y_kojima@nagaoka-ct.ac.jp



職名

助教

学位

修士(理学)

研究分野

地震動と地震被害に関する研究

地震時の震源近傍域の被害調査

航空写真を用いた地震による建物被害の分析

興味のあること・技術 PR

現象の詳細を把握するため、災害発生地で地盤調査を実施したり、航空写真を用いて建物の即時被災度判定を行ったりしています。

2019年6月に発生した山形県沖の地震においては、地震発生直後に、家屋被害を中心とした緊急被害調査を実施しました。また、特徴的な被害がみられた地点を対象に、単点微動観測を行い、H/Vスペクトルから地盤特性の評価等を行いました。

特別設備

数値計算機

ArcGIS

DJI Phantom 4 Pro V2.0



図1 微動計測機器（加速度計内蔵ネットワークセンサ）



図2 現地調査の様子

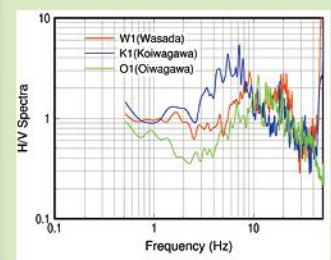


図3 H/Vスペクトル

一般教育科

一般教育科は、5学科に共通した一般科目を担当する科です。人間形成に必要な広くバランスのとれた知識を教授すること、並びに専門教育を受容しうる基礎学力を築き上げること、この二つが本校における一般教育の大きな目的です。このため、一般教育科目は可能な限り広く各学年に配置されています。また、その内容は、高等学校段階を含み、学年の進行に応じて、漸進的に高度化し、精選されたものになるよう配慮されています。

WEB版
教員プロフィール



佐藤 秀一 SATO, Shuichi

キーワード

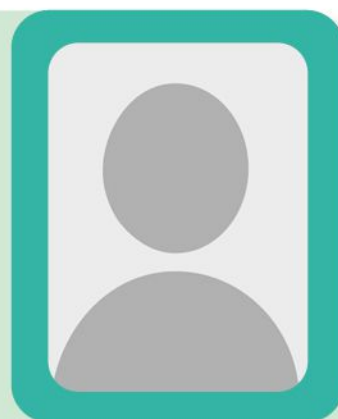
コンプトン散乱 / ラマン散乱 / 動的構造因子 / KKR法 / 工学基礎教育

分野等

固体物理

email

ssato@nagaoka-ct.ac.jp



職名

教授

学位

理学博士

研究分野

電子の運動量分布を調べるのにX線(γ 線)非弾性散乱を用いることが多々あるかと思います。金属内を比較的自由に動き回る伝導電子による散乱であれば、実験結果として電子の運動量分布を反映した散乱スペクトルが得られます。金属内の束縛電子による散乱の場合、実験条件によっては意図した結果にならず、散乱電子波動関数の局所的な振る舞いを反映した散乱スペクトルになることが推測されています。散乱電子波動関数を厳密に取り扱うことは難しく、実験結果を理論的に説明するのが難しいケースもあります。散乱電子のモデルをいろいろと試す中、従来あまり注目されてこなかった結晶の周期性が実験結果に影響を及ぼす可能性があることに気づきました。そういったことを含め理論的に試行錯誤しています。

興味のあること・技術PR

上記の他、これまで専門基礎科目や物理の授業を担当する中で、学生諸君が信頼できるエンジニアになるために克服すべき課題がいろいろと見えてきました。有効な支援・指導方法について検討・試行しています。

企業との連携実績

毎年、全国高専から学生が集まってアイデアと技術を競う「全国高等専門学校プログラミング・コンテスト(プロコン)」の運営委員を務めています(例年、競技部門のステージ上で旗を振っています)。本コンテストは創造性を育成する教育プロジェクトとして多方面から評価されておりますが、特に30年以上の長きにわたり開催を継続してこられたのは、多数の企業から協賛・支援をいただいたおかげです。今後も引き続きより多くのご支援が得られれば幸いです。

<https://www.procon.gr.jp/>

野澤 武司 NOZAWA, Takeshi

キーワード

環の拡大 / ホモロジー代数 / 数学教育

分野等

数学

email

nozawa@nagaoka-ct.ac.jp



職名

教授

学位

博士(理学)

研究分野

多元環のHochschild cohomology ringの構造と性質

足し算とかけ算の定義された集合を環と言います。また、その環の部分集合で、足し算とかけ算について閉じているものを部分環と言います。任意の環とその部分環があると、それらについてHochschild cohomologyと呼ばれる数学の世界では道具とされているものを構成することができます。

私の研究はその環と部分環にいろいろな性質、例えば、Frobenius extensionと呼ばれる性質を入れるとどんな構造や性質を持つのかを調べています。

興味のあること・技術 PR

上の多元環のHochschild cohomology ringの構造と性質に加えて、最近では数学教育にも興味を持ち、図の教育効果についての研究を共同で行うなどしました。研究結果を学生の数学への興味や理解度の増進などの授業の改善につなげることを目指しています。

市村 勝己 ICHIMURA, Katsumi

キーワード

ビジネス英語 / カランメソッド / ものづくりCLIL / 国際交流 / ダイレクトメソッド / ICTを用いた英語教育

分野等

英語教育

email

ichimura@nagaoka-ct.ac.jp



職名

教授

学位

修士(英語学)

研究分野

ものづくりCLILをテーマに共同研究者らと共に、工学を学ぶ学生向けの英語教材開発を行ってきました。エンジニアや元エンジニアの方へのインタビューや、アジアの国における日本法人の製造会社への訪問・工場見学を通じ現場で働くエンジニアからの言語データを収集し、ものづくりに関連するダイアログの作成を主に担当し、2020年に日本工学教育学会でその成果発表、翌年、工学教育2021-7 vol.69 no.4に論文が掲載されました。

国際交流に関しては、コロナ禍以前の2019年までは、海外の学術提携校からの学生の短期受け入れや本校学生を引率しての海外派遣事業に積極的に携わってきました。シンガポールのニーヤンポリテクからの学生を受け入れた際に実施した、電気電システム工学科教員によるレゴロボットプログラム、一般教育科の科目で一日体験授業を構成した受け入れプログラムについてまとめた論文をISATE2018で発表しました。

興味のあること・技術 PR

教員以前に半導体産業の材料分野において海外顧客向けに技術サポートを長年担当。(英国勤務経験、英国留学経験有)

企業との連携実績

時田CVDシステムズ株式会社 (海外からの技術問い合わせに対して英文校正等のサポート)

鈴木 覚 SUZUKI, Satoru

キーワード

哲学 / 倫理学 / ヘーゲル

分野等

哲学、倫理学

email

ssuzuki@nagaoka-ct.ac.jp



職名 教授

学位 修士(文学)

研究分野

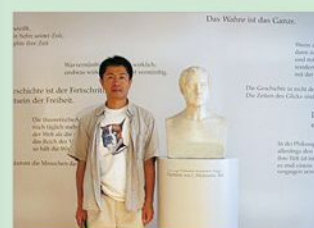
ヘーゲル(1770-1831)を中心とするドイツ哲学の研究。ヘーゲル哲学は、有神論的にも無神論的にも解釈できるところが面白いです。また、現実に向き合う態度にも惹かれます。「哲学は、理性的なものの根本を究めることであり、それだからこそ、現実的かつ現実的なものを把握することであって、彼岸的なものを打ち立てることではない。」「理性を現在の十字架における薔薇として認識し、それによって現在をよるこぶこと。この理性的な洞察こそ、哲学が人々に得させる現実との和解である。」(藤野渉・赤沢正敏『法の哲学 | ヘーゲル』中央公論新社)

授業では、技術者倫理の科目も担当しています。

興味のあること・技術 PR

これを書きながら、つくづく自分はこの学校にそぐわない人間だなあと、感じています。

世の中には、こういう学問(哲学)があり、それをやっている人間もいるのだ、ということを知ってもらうためにここにいる、と考えて日々学生に接しています。



ヘーゲルと (シュトゥットガルト)



マルクス・エンゲルスと (ベルリン)



ハイデッガーと (メスキルヒ)

山田章 YAMADA, Akira

キーワード

リーマン多様体 / 概エルミート多様体 / 数学教育 / 和算

分野等 数学

email ayamada@nagaoka-ct.ac.jp



職名 教授

学位 博士(理学)

研究分野

●微分幾何学 (リーマン幾何学、概複素幾何学)

数学の一分野である微分幾何学について、研究しています。曲線や曲面を一般化(高次元化)した、適当な座標系の入る(言い換えれば地図が作成できるような)空間を多様体と言います。リーマン多様体の概念は、多様体の上にリーマン計量と呼ばれる長さや角を測る道具を付け加えたものです。リーマン多様体上のいろいろな曲率と、等質性や幾何学的構造(概複素構造など)との関係を研究しています。不定値計量(内積が0以上とは限らない計量)についても研究しています。

興味のあること・技術 PR

●数学教育

これまでに、高専・大学向けの教科書や問題集などの教材作成に携わりました。より理解しやすい教材や指導方法について研究しています。

●和算

2016年度にプレラボ「江戸時代の数学を楽しもう! 長岡高専和算倶楽部」を立ち上げ、学生たちと一緒に和算の研究活動をしています。2021年度はオリジナル算額を制作・奉納しました。

企業との連携実績

2017～2019年度

長岡市三島地域ふるさと創生基金事業・地域の宝磨き上げ事業「和算の里みしま」等の各種事業実施に協力

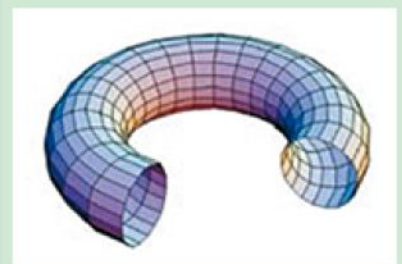


図1 トーラス(円環面)



図2 金峰神社の算額(復元)



図3 長岡高専和算倶楽部 オリジナル算額
長岡市三島上岩井 根立寺に奉納

田中 聡 TANAKA, Satoshi

キーワード

日本中世 / 荘園 / 武士 / 都市 / 越後 / 佐渡 / 資料保存

分野等 歴史

email stanaka@nagaoka-ct.ac.jp



職名 教授

学位 修士(文学)

研究分野

日本中世史を専攻し、現在は主に越後・佐渡を中心とした地域史研究に取り組んでいます。

主な業績として、「南北朝・室町期における佐渡守護と本間氏」（『新潟史学』第66号、2011.10）、「佐渡への道、佐渡からの道」（中世都市研究会編『日本海交易と都市』山川出版社、2016.9）、「河村彦左衛門尉とは何者か」（『日本歴史』第855号、2019.8）、「分水町史」（共著、2004.3、2005.3）、「弥彦村誌事典」（共著、2009.3）、「知っておきたい新潟県の歴史」（共著、2010.2）などがあります。

また、『越後文書宝翰集』（国指定重要文化財、新潟県立歴史博物館所蔵）の調査研究に参加し、研究成果は、『越後文書宝翰集 古文書学入門』（共著、2007.3）、「越後文書宝翰集 三浦和田氏文書Ⅲ・河村氏文書・小田切氏文書」（共著、2022.3）などに集約されています。



主な研究成果

興味のあること・技術 PR

地域史研究の経験をふまえて、以下のご相談に応じることが可能です。

古文書の解読や保存方法

地域の歴史の調査研究や歴史編さん

一般向け歴史講座の講師

地域資源としての歴史・文化の活用



調査の様子（十日町市）



調査の様子（佐渡市）

企業との連携実績

【歴史編さん事業】

新潟県の歴史に関する一般向け書籍の企画（新潟日報事業社）に編集統括として参画。県内の自治体史編さん事業（分水町・弥彦村）に調査執筆員として参画。

【講座講師】

まちなかキャンパス長岡などの講座講師。FMながおかの番組「ふるさと歴史散歩」に講師として出演。

【各種委員】

新潟県立文書館文書調査員、佐渡市文化財保護審議会委員、長岡東西道路橋梁名称選定委員会委員、地域の「宝」歴史・文化等のさらなる活用・伝承事業懇談会委員（長岡市）など。



講座の様子（長岡市）

猪平 直人 INOHIRA ,Naoto

キーワード

平安朝歌物語 / 大和物語

分野等

日本古典文学

email

inohira@nagaoka-ct.ac.jp



職名

教授

学位

修士(文学)

研究分野

平安時代の歌物語である『大和物語』の創作性について研究しています。物語を作る上で基にした原話からの改変の様相を探ることで、物語作者の創作意図を掴み、ひいては作品そのものの性格を明らかにできると考えています。

学生時代の演習で、歌物語と類話との比較考察を発表しました。それが先生や諸先輩方に好評だったことと、考察の作業自体が自分でも興味深く感じられたことがきっかけで、歌物語の一つ『大和物語』を研究テーマとするに至りました。共通する枠組みを持つ話同士を比較しても、ディテールの違いで、登場人物や話自体の性格まで変質してしまうことに興味を引かれます。「細部にこそ神は宿る」は正に名言だと思います。

現代でも「話型」という共通の枠組みを意識的または無意識的に利用しながら、新たな物語が次々に紡がれています。これだけ新しい物語が絶えず生み出されていくのは、様々な人生を描く「物語」というものが、人間にとって、ある意味で必要不可欠なものであるからではないでしょうか。現実だけでは経験できない「生きること」の手ごたえを、実際にはさほど傷つかない形で味わえるのが、「物語」というものの徳だといえると思います。

興味のあること・技術 PR

平安朝歌物語作品の創作性に興味があります。また複数の物語等に共通してみられる「話型」の問題にも関心があります。ストーリー性をもつ話は、類似する「型」をふまえて再生産されることが多く、類似と相違を考察することで、各話の性格が見えてきます。

新井 好司 ARAI, Koji

キーワード

原子核構造 / 原子核反応 / 量子力学

分野等

原子核物理学

email

arai@nagaoka-ct.ac.jp



職名

教授

学位

博士(理学)

研究分野

微視的模型による軽い原子核の構造と反応の研究

量子力学的少数多体系としての軽い原子核の構造、反応計算

宇宙での元素合成に関わる天体核反応の計算

参考文献

- ・ "Tensor force manifestations in ab initio study of the ${}^2\text{H}(d,\gamma){}^4\text{He}$, ${}^2\text{H}(d,p){}^3\text{H}$, and ${}^2\text{H}(d,n){}^3\text{He}$ reactions", K. Arai, S. Aoyama, Y. Suzuki, P. Descouvemont, D. Baye, Physical Review Letters, 23(2011)132502.
- ・ "Microscopic cluster model study of ${}^3\text{He}+p$ scattering", K. Arai, S. Aoyama, and Y. Suzuki, Physical Review C81(2010)037301.

興味のあること・技術 PR

原子核物理学の理論的基礎研究を行っています。

特別設備

理論物理学の基礎研究のため、実験等を行わないので、設備等はありません。

専門分野の魅力

原子核は陽子と中性子の2種類の粒子のみから構成される複合粒子であるが、原子核の様なミクロな世界を支配する物理法則は量子力学によって決まる。そのため、我々の日常の世界の物体の運動を支配する古典力学（ニュートン力学）では見られない多種・多様な性質が原子核の構造と反応に見られる。特に最近の加速器技術の発展に伴う実験技術の進歩に伴い、これまで実験的研究が難しかった核種や新しい核種の発見に伴い、興味深い新しいデータが多く得られている。一方で、理論的研究の側面では、原子核は量子力学多体問題であり、これを厳密に解くことは不可能であり、そのため、様々模型や計算手法が発展している。しかしながら、多体系、特に少数多体系における共鳴状態・散乱問題をどのように理論的により正確に扱うかは依然として物理的にも数学的にも難しい課題であり、更なる理論的研究の発展の余地が多く、興味深い分野であると感じている。

土田 泰子 TSUCHIDA, Yasuko

キーワード

コミュニケーション / 英語多読 / 生体信号計測

分野等

コミュニケーション

email

ytsuchida@nagaoka-ct.ac.jp



職名

教授

学位

博士(学術)

研究分野

主にポスターなどの視覚メディアによる表現と、その受容に関する研究を行っています。英語教育の分野では、英語多読により継続的な語学学習を行うための試みとして、効果的な導入方法について研究し、学習者が意欲的・主体的に学習を継続できるカリキュラムを検証しています。

また、学習者がどのように英文を読むのか、どのような行動や能力を客観的に分析するため、脳波や視線といった生体情報を計測して特性を明らかにする研究も行っています。

興味のあること・技術 PR

「伝える」と「伝わる」の間にあるもの、そして「伝わる」の先にあるものについて、メディアという表現の観点から、受容システムという人間工学の観点から、またコミュニケーションという相互の関連性の観点から検討しています。

【実験装置など】

生体信号収録装置 Polymate Pro MP6000

視線計測装置 Tobii Pro Fusion 250

特別設備

本校図書館には、英語多読用の図書があります。英語多読とは、簡単な英語で書かれたものから読み始め、「簡単で短い本」→「簡単で長い本」→「少し難しい本」のように、少しずつレベルアップしながら、たくさんの本を読む、という読書法です。日本語を介さずに英語を理解する力や、英文を読むリーディングスピードを高める効果が期待できます。



生体信号計測実験の様子



長岡高専図書館 英語多読コーナー

佐藤 直紀 SATO, Naoki

キーワード

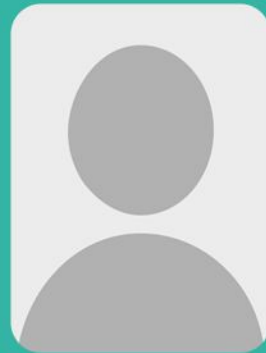
偏微分方程式 / 数学教育

分野等

数学、数学教育

email

naoki@nagaoka-ct.ac.jp



職名

准教授

学位

博士(理学)

研究分野

数学教育、非線形解析学

興味のあること・技術 PR

劣微分作用素を応用して非線形偏微分方程式系の研究をしてきました。非線形問題の解は初等関数で表現できないこともたびたびあり、私の分野はどうしても抽象論になってしまいますが、モデルの数学的な適切性の判断などには大変重要な意味を持っています。

学生が自学自習できる問題集を作りたいと思っています。

専門分野の魅力

地震予知が難しいことを高専の低学年の学生に対して、数学の観点から説明したいと思っています。これから書くことは検証が不十分であることをご承知願います。概要です。

ある現象があったときにいくつかの変数の連立偏微分方程式で表します。この連立方程式に解が存在してしかも解が1つだけだと証明できれば、それらの変数に対応する値を観測して将来起こる事象を予測できると考えられます。ここでは変数(未知関数)は連続で微分可能です。

ところが、破壊を伴う地震のような現象に関係のありそうな変数は、地震発生時に連続性が仮定できないので、対応する連立偏微分方程式をつくること自体が難しいとされています。また、連立偏微分方程式ができて解の存在が示されたとしても、長い時間、広大な土地に適応した計算ができるかという問題があります。難しい。。

いまま地震学者の方々には捉えやすい変数をさがして日々観測しておられるのだと思います。

こんな話を低学年の学生にしようと思っていますが、数学の内容を少しでも盛り込むととたんに話しが長く難解になります。そのあたりをどうしようか考えているところです。

占部 昌蔵 URABE, Shozo

キーワード

ライティング / テスティング

分野等

英語

email

surabe@nagaoka-ct.ac.jp



職名

准教授

学位

修士(教育学)

研究分野

英語教育 (主に、ライティング、 テスティング)

第二言語習得において、ライティング能力がどのように進展していくのかについての研究

項目応答理論の言語テスト分野への応用可能性に関する実践的研究

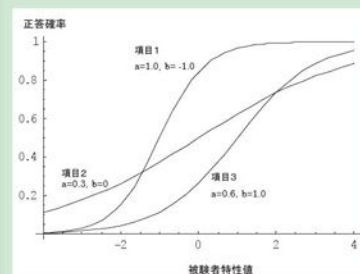
テストの妥当性 (テスト内の個々の項目が実際にどの程度測定しているのか) についての研究

興味のあること・技術 PR

- ・過去にモチベーション研究を行った経験があるので、学習者中心、学習スタイルに興味があります。
- ・現在までに外国の学校を訪れる機会が多かったので、学習環境について興味があります。
- ・英語の能力を測定することはとても難しい場合があります。それぞれの目的に応じて求められる英語能力も違ってくるでしょう。様々な英語テストについての説明ができます。

特別設備

本校CELLラボにはネットワーク型教材を利用した語学学習支援システムが導入されています。主に、英語リスニングやリーディング学習に利用されています。



項目特性曲線



CELLラボ

江田 茂行 EDA, Shigeyuki

キーワード

こどもの運動 / 運動外遊び / 空間・動作・感覚認知能力

分野等

保健体育、トレーニング科学

email

shigeeda@nagaoka-ct.ac.jp



職名

准教授

学位

修士(体育科学)

研究分野

- ・体の発達、脳の発達を促す「運動外遊び」の研究に取り組んでいる。
- ・幼少期に身に付ける運動有能感は、学力の向上に影響を及ぼすといった研究報告もあり、子どもだけでなく、大人も体で疲れたときに軽く体を動かすことで、頭がスッキリすることがあるように、体と脳の発達が精神的成長及び、学習能力の向上、コミュニケーション能力の向上につながるなど、だれもが気軽にできる運動遊びの研究に日々、取り組んでいる。
- ・運動外遊び、公園外遊び、陸上運動遊び（走る・投げる・跳ぶ）、ダブルダッチ縄跳びを用いた運動遊び、音楽（日本の童謡）を用いた運動指導、太鼓を用いた運動指導の研究を行っている。

興味のあること・技術 PR

- ・小学生を対象にしたダブルダッチ縄跳び指導の実践。2022年度は親子でダブルダッチ指導にチャレンジ。地方自治体より依頼。
- ・縦割り体育で応用可能。クラス・学年・親子・老若男女、どのような年齢層でも指導可能。
- ・学校行事の大縄跳び大会に向けてのクラスの団結力を高めるための導入や、応用発展運動としても有効。
- ・ダブルダッチ縄跳びをやることにより、相手を尊重する気持ち（態度）、双方向コミュニケーション能力、集中力の向上を図ることが可能。
- ・人生における困難を乗り越えるリズムやタイミングを修得できる実技指導にもなり得る。
- ・自ら率先して行動を起こす、主体性、自主性の能力を向上させる運動プログラム（リズムとタイミングの修得）。
- ・年間30校（コロナ禍前）以上の小学校や放課後児童クラブ等から依頼が殺到。5年間で150回以上の運動実践。

特別設備

ダブルダッチ用の縄 100本

全自動式ピストル（100分の1までのタイム測定可能）

タグラグビー用のテープ 100枚

全自動タイム測定装置（システム）

※100分の1秒までのタイム測定可能。

※無線を用いての100mタイム測定可能。

企業との連携実績

なし

- ・社内研修のコミュニケーション作りに応用可能。
※アイスブレイキングとして
- ・小学生（5年生）の宿泊研修における安全指導教育の講師として実践事例もあり。
- ・PTA行事、親子運動遊びの講師として実践事例もあり。

表1 ダブルダッチ習得アンケート結果

～長岡高専1年生体育授業で
ダブルダッチ運動を実践～

2時間（60分×2回） n=197

●アンケート1

どのレベルまでできるようになりましたか
（ダブルダッチは跳べるようになりましたか?）

・全く跳べなかった	7
・1回なら跳べた	26
・2～3回は跳べた	45
・4～5回は跳べた	34
・6回以上跳べた	67

●アンケート2

2本の縄を跳んで、脚をひっかけないで外に出ることはできましたか?

・できた	86
・できなかった	111

●アンケート3

ダブルダッチは楽しかったですか?

・楽しかった	187
・楽しくなかった	10

●アンケート4

またダブルダッチをやってみたいですか?
（複数回答可）

・またやってみたい	123
・色々な技に挑戦してみたい	78
・もうやりたくない	31

小川 秀 OGAWA, Shigeru

キーワード

糖鎖 / レクチン / ヤマトヒメミズ / 個体再生 / 組換えタンパク質

分野等

糖鎖生物学

email

ogawas@nagaoka-ct.ac.jp



職名

准教授

学位

博士(農学)

研究分野

ヤマトヒメミズは小さな体片からの完全な個体再生を可能とする日本固有の土壤環形動物です。白い糸くずのように見える小さなミズですが、本種の顕著な個体再生能に秘められた仕組みについて糖鎖とレクチン（糖結合タンパク質）による糖鎖認識の点から解明しています。その過程で単離されたレクチンにメチル化マンノースという糖に結合するmMBPがあります。mMBPを大腸菌等の異種発現系で大量生産し、その機能の詳細について研究を進めています。

興味のあること・技術 PR

ヤマトヒメミズの個体再生過程における自己、非自己の細胞認識と自然免疫誘導に興味を持っています。遺伝子発見レベルの解析、蛍光標識したレクチンによる糖鎖の検出や異種発現系による組換えタンパク質の生産、解析が可能です。

特別設備

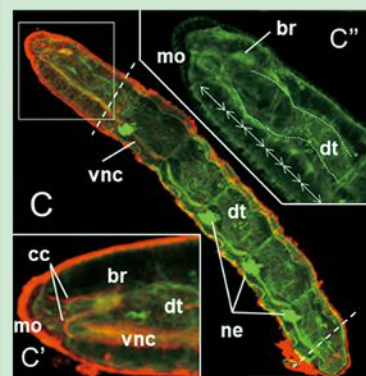
定温インキュベータ

クリーンベンチ

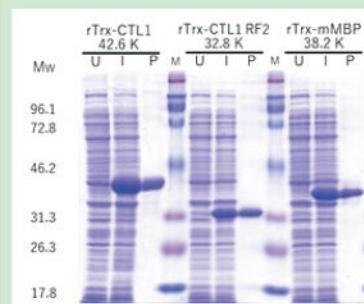
各種タンパク質・核酸解析装置



ヤマトヒメミズ (成長個体)



ヤマトヒメミズ再生過程における頭部神経系(黄色)とビーナッツレクチン結合糖鎖(緑色)の検出



大腸菌を利用したヤマトヒメミズ由来レクチン関連タンパク質の生産

大湊 佳宏 OMINATO, Yoshihiro

キーワード

英語教育 / 汎用的スキル / 英語表現活動 / 人間関係 / 課外活動

分野等

英語

email

ominato@nagaoka-ct.ac.jp

研究分野

英語力を向上させる英語教育、そして英語教育を通して新調させることのできる力について調査・研究、実践を行っている。

また、本校の水泳部員は、水難学会とのコラボレーション・プロジェクトで、海外の子どもたちの命を水の事故から救う活動（Uitemate国際普及活動）に参加をしている。また、高専生のUitemate国際ワークショップへの参加も認められ、高専生の活動や調査について英語での発表をするなど、部活動の可能性を広げながら活躍している。

興味のあること・技術 PR

教室内での英語表現活動が、学習者間の人間関係に及ぼす影響や、社会で応用できる汎用的スキル（Generic Skills）の向上も目指したい。最近では、英語教育の側面からでなく、課外活動（特に部活動）での学生の活動や国際交流活動が学生のどのような人間力に影響を及ぼすのかに興味を持っている。

特別設備

長岡高専では、2020年度に「グローバル・エンジニア育成事業」がスタートし、学生の思考スキルの向上を目指す取り組みが始まっている。同時に、英語能力の育成も担うために、Really English社やアルク社のe-learningソフトが導入された。Cellラボ（4号館4階に位置）において、学生は自学自習を進めることができる。また、本校図書館には多くの種類の「英語多読」用図書がそろえられており、授業内外問わずに学生が英語力を伸ばすことのできる環境が整っている。

本校には、課外活動で使用している綺麗なプールがあり、競泳競技の活動並びに指導を行っている。将来的には、高専生を対象とした「ういてまで講習会」（水辺の事故から自らの命を救う技術の講習会）を開催し、全国に広めていきたい。



職名

准教授

学位

修士(教育学)



英語多読の様子@長岡高専図書館



令和元年度関東信越地区水泳競技大会（長野県）総合優勝



Uitemate International Conference 2019 in Kota Kinabalu Sabah, Malaysia の主要参加者国際会議を企画・運営（6か国が参加）

大森 理聡 OMORI, Michiaki

キーワード

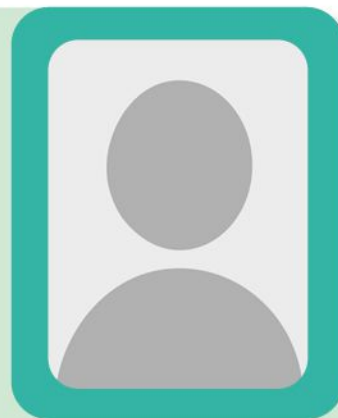
英語教育 / 教育学

分野等

英語

email

omori@nagaoka-ct.ac.jp



職名

准教授

学位

修士（教育学）

研究分野

- ・一般化できる効果的な英語指導方法について研究しています。
- ・教師が授業時に見ている視線先と視線を向けた意図を明示化し、授業時の視線行動や指導内容の紐付けを行い効果的な指導方法を分析しています。
- ・教師にとって役に立ちそうな仕組みづくりに興味があります。

興味のあること・技術 PR

- ・学生の英語力向上、また、就職や進学に役立つように、TOEICや英語実用検定試験といった資格試験を行っています。

特別設備

- ・長岡高专では、インターネットを介して、自主学习や授業でTOEIC対策のソフトウェアを使用した学習ができます。
- ・図書館では、多くの洋書があり、読みやすさのレベル別に分けられ、学生が英語多読に取り組んでいます。

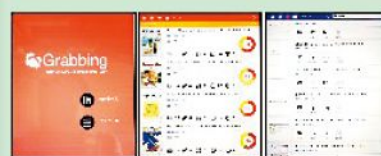


図1 教科書評価プログラム



図2 教師の視線によるアイトラッキング



図3 360°動画内のアイトラッキング

田原 喜宏 TAWARA, Yoshihiro

キーワード

確率論 / 確率解析 / マルコフ過程 / ディリクレ形式 / 大偏差原理

分野等

数学、解析学基礎、確率論・確率解析

email / URL

tawara@nagaoka-ct.ac.jp
https://www.nagaoka-ct.ac.jp/~tawara/



職名 准教授

学位 博士(理学)

研究分野

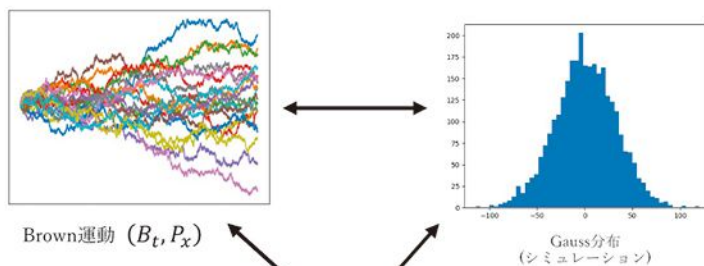
確率論の中でもポテンシャル論など解析学との関係の深いディリクレ形式の理論を用いて対称マルコフ過程、とくにその漸近挙動や対応するマルコフ半群の解析的な性質に関する研究を行っています。例えば、空間の中を自由に動く微粒子を記述する数学モデルであるブラウン運動は熱方程式と呼ばれる偏微分方程式と対応することが知られていますが、この関係はもっと一般に時間に応じて空間をランダムに動くマルコフ過程と呼ばれる確率過程のあるクラスと生成作用素との関係で与えられます。この関係を用いて、確率的な概念であるマルコフ過程に対し解析的手法を利用してその性質を研究しています。

これまではシュレディンガー半群のp乗可積分空間上での増大度がpに依存しない“L^p独立性”の問題やレート関数を用いたドンスカー・ヴァラダーン型大偏差原理の研究を行ってきました。

最近では微分方程式の熱核が最大値を取る位置を境界条件を用いて評価するhot spot問題を飛躍型マルコフ過程に拡張した場合での研究、とくにディリクレ形式を用いて解析的な評価を与えることについて興味を持っています。

興味のあること・技術 PR

研究分野が純粋数学ですので、自身の研究が直接的に役立つかどうかはわかりませんが、確率論を専門としているので、基礎的なデータ処理や統計学の知識を提供できるかと思います。



Dirichlet形式

企業との連携実績

建造物解体の見積りに関するアルゴリズムの開発

堀口 真利子

HORIGUCHI, Mariko

キーワード

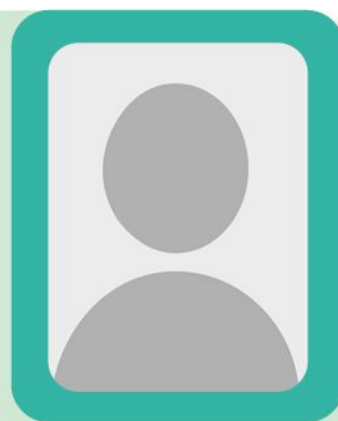
村上春樹 / 女性作家 / 女性史 / 児童文学

分野等

国語

email

mariko@nagaoka-ct.ac.jp



職名

准教授

学位

博士(文学)

研究分野

・村上春樹研究

『ノルウェイの森』(1987)から『騎士団長殺し』(2017)を中心として、主に親密性に焦点をあてて研究してきました。現在は短編や映像化されている作品分析を行っています。『村上春樹 表象の圏域—『1Q84』とその周辺』(共著)『村上春樹『ノルウェイの森』の研究』(共著)

・長岡市出身の作家である杉本鉞子の研究を行っています。

大正末期に出版された『A Daughter of the Samurai (武士の娘)』の訳本や資料、岩倉具視使節団との関係、大山捨松、津田梅子や平塚らいてう等の人生を中心に比較しながら、当時の女性の生き方について研究しています。

興味のあること・技術 PR

- ・教師用指導書作成、文章作成などの指導をしています。

企業との連携実績

- ・「にいがた連携公開講座2018」(十日町市)、「長岡市立中央図書館文化講座2019」(長岡市)講師等行ってきました。
- ・「一緒に読もう!村上春樹」
まちなかキャンパス長岡 2022
- ・文化講座II 「生誕150年杉本鉞子『武士の娘』(新訳)を読む——海を渡った女性たち——」
長岡市立中央図書館 2022

専門分野の魅力

大学時代からずっと村上春樹という作家を中心に研究してきました。長岡に移り住んでからは、長岡の郷土の作家も知りたいと思うようになりました。その頃、2016年4月小坂恵理さんによる『武士の娘』の新訳が出版されました。この時に初めて「杉本鉞子」という人物や『武士の娘』を知ることになりました。『武士の娘』は、「越後の冬」という章から始まって、雪国での生活や風景が描かれていきます。内容はもちろん、その語り口に魅了され、これを機に、杉本鉞子を中心とする当時の女性の生き方を研究することになりました。

富樫 瑠美 TOGASHI, Rumi

キーワード

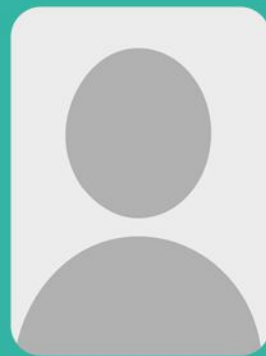
可換Banach環 / 関数環 / Preserver Problem

分野等

数学 (解析学)

email

rumi@nagaoka-ct.ac.jp



職名

准教授

学位

博士(理学)

研究分野

近年、Banach 環や関数環の間の写像に関して、特に線形性や乗法に関する情報を保存する 写像におけるノルムやスペクトルを用いた特徴づけを行う研究が盛んに行われています。実際、Mazur-Ulam の定理や Kowalski-Slodkowski の結果("A characterization of maximal ideals in commutative Banach algebras," Studia Math., 67(1980), 215-223) など、ノルムやスペクトルに関して条件式として和やスカラー積を考慮した条件による写像の特徴づけが数多く提案されており、大変興味深い結果が発表されています。これに関連して、Wigner の定理の別証明や Tingley 問題への部分的解答なども発表されています。本研究者は、スペクトルやノルムに関連した条件を与えたときにその写像がどのような性質をもつかを調べています。

興味のあること・技術 PR

研究分野については上記の通りですが、数学全般、特に解析学について機会があれば積極的に勉強、研究していきたいと考えております。また、数学教育や指導方法の研究にも興味があります。共同研究など何かお役に立てることがございましたらいつでもお声がけください。

専門分野の魅力

数学的な対象の間に定義された写像には、線形性や等距離性など様々な性質をもつものが存在しますが、性質どうしは一見無関係に見えても実は相互に関係しているという研究結果が数多く発表されています。それらの研究結果を分析していく中で、特徴的な写像の性質を特徴づける「値」または「評価基準」で最適なものもしくは最も小さい評価値の集合は何か、ということに興味を持っています。また、その中でも特にノルムまたは末梢スペクトルによって関数の情報がどこまで抽出できるかに非常に興味があります。

武樋 孝幸 TAKEHI, Takayuki

キーワード

エネルギーシステム / 再生可能エネルギー / 地域活性化

分野等

応用物理学

email

takehi@nagaoka-ct.ac.jp



職名

講師

学位

博士(理学)

研究分野

飛行機、自動車、小さなパソコンから大きなプラントまで、多くのものは「機能の組み合わせ」によってできています。既存の機能を組み合わせることで新しい機能を持たせることをシステムインテグレーションと言います。特に、再生可能エネルギーを利用するためのシステムインテグレーションを専門としています。

興味のあること・技術 PR

再生可能エネルギー機器の開発に長く携わり、再生可能エネルギーのみで暮らせる住宅の開発や、エネルギー的に持続可能な農業の研究に取り組んで来ました。

<メディア掲載>

日経ビジネス「巨大電力 vs 個人発電所」(2018)

新潟日報「猪ベーション」(2019)

日本経済新聞「東北大・長岡高専・京大 雨後のキノコの電気的な会話を測定」(2023)

特別設備

各種データロガー

充放電特性試験機

ポテンショガルバノスタット

企業との連携実績

有機レドックススーパーキャパシタの開発

地中熱利用法の開発

特殊断熱材の性能評価

摩擦材の水による潤滑特性の評価

油の酸化劣化プロセスの研究



図1 プレス機



図2 卓上フライス盤

中山 雅友美 NAKAYAMA, Mayumi

キーワード

Hessenberg variety / 変換群論 / 代数的トポロジー / 情報幾何学

分野等

幾何学

email

m_nakayama@nagaoka-ct.ac.jp



職名

助教

学位

博士(理学)

研究分野

自然科学一般、幾何学

多様体の基本群やコホモロジーといったトポロジーを用いて幾何構造を理解する研究をしてきました。最近では、組み合わせ論、代数幾何、トポロジーといった異分野が交叉する Hessenberg 多様体に興味を持っています。

(Hessenberg 多様体については右をご覧ください。)

興味のあること・技術 PR

本校で統計学の授業を担当する機会があり、それから情報幾何学にも興味を持って勉強を始めました。データ解析は専門ではありませんが、統計的モデルを幾何学として捉えることでデータの特徴を紐解ければ面白いと思っています。

数学に対して堅苦しいイメージを持っている方も多いと思いますが、数学はとても自由で純粋に楽しめる学問です。専門的な数学に触れたい、勉強をしてみたいといった方はお気軽にお声がけください。

特別設備

専門的な数学(幾何学)のゼミを行っています。

企業との連携実績

平成 29 年 長岡市教育委員会「熱中!感動!夢づくり教育 数学アカデミー」講師

平成 30 年 数学アカデミー in 長岡高専 企画運営

平成 30 年 まちなかキャンパス サイエンスカフェ 4次元という概念があるねん 講師

1.1. **Hessenberg function and Hessenberg variety.** Let n be a positive integer and $[n]$ the set $\{1, 2, \dots, n\}$. A function h is a Hessenberg function if it satisfies the following two conditions:

- i) $h(1) \leq h(2) \leq \dots \leq h(n)$,
- ii) $j \leq h(j)$ for all $j \in [n]$.

The (full) flag variety $FI(\mathbb{C})$ is the collection of nested linear subspaces $V_i := V_1 \subset V_2 \subset V_3 \subset \dots \subset V_n = \mathbb{C}^n$ with $\dim V_i = i$ for all integers $i \in [n]$. For an $n \times n$ matrix X considered as a linear map $X: \mathbb{C}^n \rightarrow \mathbb{C}^n$ and a Hessenberg function $h: [n] \rightarrow [n]$, the Hessenberg Variety associated with X and h is defined as

$$\text{Hess}(X, h) = \{V_i \in FI(\mathbb{C}^n) \mid XV_j \subset V_{h(j)} \text{ for all } j \in [n]\}.$$

example 1.1. Let $n=5$, $h = (h(1), h(2), h(3), h(4), h(5)) = (3, 3, 4, 5, 5)$ and $X = id = E$. Since any flag variety V_i satisfies the condition $XV_j \subset V_{h(j)}$ for all $j \in [n]$, so $\text{Hess}(E, h) = FI(\mathbb{C})$.

More generally, for the identity map E and any Hessenberg function h , the Hessenberg Variety $\text{Hess}(E, h) = FI(\mathbb{C})$.

1.2. **Regular nilpotent Hessenberg varieties.** Let N be a regular nilpotent matrix with n dimension, i.e. a nilpotent matrix with a single Jordan block. In Jordan canonical form, it is given by

$$(1.1) \quad \begin{pmatrix} 0 & 1 & & & \\ & 0 & 1 & & \\ & & \ddots & \ddots & \\ & & & 0 & 1 \\ & & & & 0 \end{pmatrix}.$$

For a Hessenberg function h , $\text{Hess}(N, h)$ is called a regular nilpotent Hessenberg varieties.

example 1.4. If h is the identity map id , then $\text{Hess}(N, id) = FI(\mathbb{C})$.



H29年 熱中!感動!夢づくり教育 数学アカデミー

桐生 拓 KIRYU, Taku

キーワード

体育 / 柔道 / 普及 / トレーニング

分野等

体育科教育、柔道

email

tkiryu@nagaoka-ct.ac.jp



職名

助教

学位

修士(教育学)

研究分野

柔道の普及について研究しています。

近年の柔道競技者減少には様々な要因があると考えられています。普及活動の多くは女性や小中学生が中心ですが、高校生や大人などの比較的高い年齢層の人が柔道を始めるきっかけを作れないか検討・実践・研究をしています。

興味のあること・技術 PR

柔道だけでなくスポーツ全般の指導方法に興味があります。

また、柔道については指導法・審判法など様々な角度から検討・実践しています。

特別設備

- ・柔道場
 - ・トレーニング施設
- 他体育施設



市川 智之 ICHIKAWA, Tomoyuki

キーワード

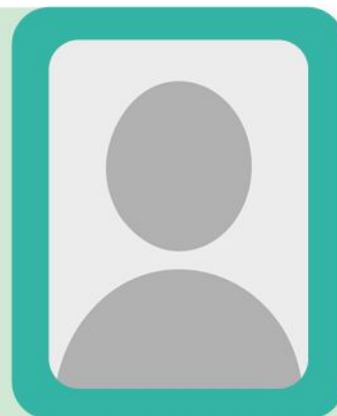
バレーボール / コーチング / スポーツビジョン / 技術・戦術

分野等

保健体育

email

Tomo5532@nagaoka-ct.ac.jp



職名

助教

学位

修士
(スポーツ学科)

研究分野

ヒトがスポーツ活動を行う際、あらゆる感覚器から情報を取得し、認知した結果から行動選択を行っている。その中でも最も多くの情報を取得しているのが視覚と言われており、近年スポーツ指導の現場では、視覚能力を高めるスポーツビジョントレーニングに注目が集まっている。

シャッターゴーグルを用いたスポーツビジョントレーニングが競技パフォーマンスに与える影響について調べています。

興味のあること・技術 PR

スポーツビジョントレーニングは近年普及してきていますが、その評価方法が未だ限られた手法で行われています。多くの人が気軽に視覚機能を評価する仕組みの検討・開発を今後行っていく予定です。

特別設備

- ・シャッターゴーグルVisionup (図1)
- ・バレーボールマシンNV100 (図2)



図1 シャッターゴーグル



図2 バレーボールマシン

兵藤 桃香 HYODO, Momoka

キーワード

第二言語習得 (ビリーフ、モチベーション) / 日本語教育

分野等

第二言語習得、日本語教育

email

momorine@nagaoka-ct.ac.jp



職名

助教

学位

修士
(国際コミュニケーション学)

研究分野

●第二言語習得

- ・ 学習者モチベーションやビリーフ

●日本語教育

- ・ 漢字学習のビリーフ
- ・ 理工系留学生の日本語学習ビリーフなど
- ・ 理工系でのやさしい日本語にも興味あり

興味のあること・技術 PR

- ・ タイ語ができます (สามารถใช้ภาษาไทยค่ะ)
- ・ RYT200
(全米ヨガアライアンス認定ヨガインストラクター)
- ・ アロマセラピー検定1級

その他にも、企業で働く外国人の方々のサポートや日本語教育、多文化共生に関することにも興味があります

企業との連携実績

寺泊漁協・長岡市地域おこし協力隊と未利用魚に関する活動 (R2年度から)

長岡技術科学大学と共同研究 (R3年度から)

新潟NGOネットワーク 国際教育研究RINGメンバー (R3年度から)

JICA国内教員研修参加 (R3年度)

新潟県国際交流協会 国際理解教育の推進を図る人材の一員 (R4年度から)



図1 留学生と日本人の活動 (木沢)



図2 留学生陶芸体験



図3 未利用魚の活動



図4 T-J Science Fair2019引率

クラペット タネット KLADPHET, Thanet

キーワード

Electrical / Plasma dynamics / Numerical simulation

分野等

大気圧プラズマ

email

thanet@nagaoka-ct.ac.jp



職名

特命助教

学位

博士(工学)

研究分野

Main area of my study relates with numerical investigation through simulations for experimental observations on atmospheric pressure plasma applications. For this purpose, I collaborate my work with the Plasma Dynamics Laboratory at Nagaoka University of Technology. Even though I didn't conduct any experiments as primary investigator, I will join some of the experiments to get idea of the experimental conditions before perform simulation work.

Chemical species in plasma are a more complex process that provides crucial data for optimizing their applicability. Furthermore, investigations of chemical distribution properties is a challenging process. Consequently, numerous studies were conducted using numerical.

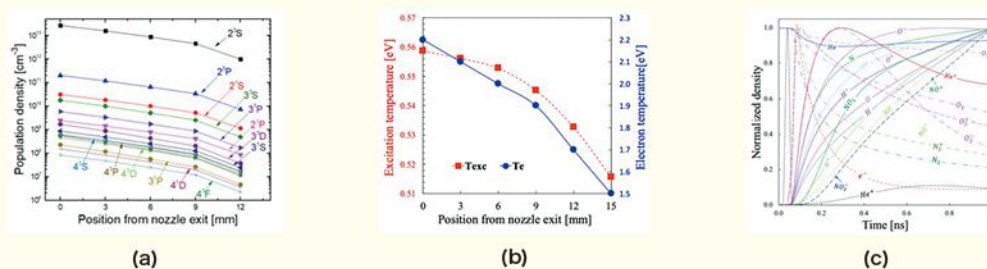


Fig. Prediction results (a) Population density along with plasma jet (b) Distribution of T_{exc} and T_e against the position from nozzle exit (c) Predicted normalized density of chemical specimens in the APP with ambient air. [Ref. Plasma and Fusion Research 16, 2401060 (2021) DOI: 10.1585/pfr.16.2401060]

Research publications:

1. **Thanet, K.**, Thai V. P., Fernando, W. T., Takahashi, K., Kikuchi, T., & Sasaki, T. (2022). Using numerical analysis of ordinary differential equation systems to predict the chemical concentration after plasma irradiation. AIP Advances 12, 055116.
2. **Thanet, K.**, Fernando, W. T., Takahashi, K., Kikuchi, T., & Sasaki, T. (2021). Determination of Helium-Discharge Atmospheric-Pressure Plasma Parameters and Distribution Using Numerical Simulation. Plasma and Fusion Research, 16, 2401060-2401060.

企業との連携実績

For 14 years of working with a Japanese company.

- (2001-2013) NOK corporation
- (2017-2019) Toray group

Experience work on overseas projects such as in Singapore, China, and Japan.

Knowledge skill: Kaizen, QCC, Group work, Leadership and so on.

3rd Thailand Kaizen Award 2010 in Automation Kaizen & Karakuri Kaizen from Prime Minister of Thailand. (Reduce the loss of copper in production)

President of Thai student association (TSAJ) in Nagaoka University of Technology, Niigata (2015).

タニア ペニャフロア TANIA, Peñafior

キーワード

Biocompatibility/ Nanobiomaterials/ Hydroxyapatite/
Problem-solving methods/ Thinking and communication skills /SDGs

分野等

Material Science

email

taniap@nagaoka-ct.ac.jp



職名

特命助教

学位

博士(工学)

研究分野

Study on Preparation of Hydroxyapatite Nanoparticle films and their Biocompatibility Evaluation for Biomedical Applications

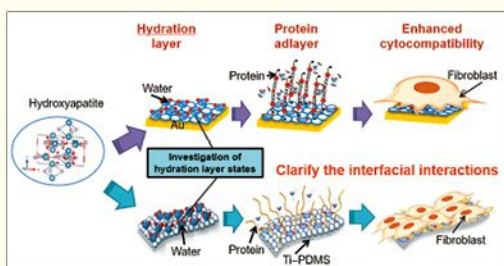


Figure 1. Preparation of HAp NPs films and their protein mediation ability for cell adhesion

In biological environment, the adequate cell response to biomaterials such as hydroxyapatite nanoparticles (HAp NPs) are determined by the hydration layer and the adsorbed proteins on the surface. In order to improve the biocompatibility of these HAp NPs for biomedical applications, it is necessary to investigate the hydration layer-protein-cell interfacial interactions.

Education duty

Improve students' logical and critical thinking and communication skills as they develop various projects related to the Sustainable Development Goals (SDGs) by applying innovative and creative problem-solving methods while learning and practicing English.

興味のあること・技術 PR

I am interested in the synthesis, characterization and biological evaluation of nabiomaterials.

I am interested in supporting students to improve the communication and English abilities. I would like to motivate them to participate in English events like speech contest.

企業との連携実績

We are in a globalized world. To be part of globalization, it is necessary to incubate a new generation of global engineers with the ability to communicate effectively in English with developed logical, critical and design thinking that allows them to solve problems innovatively and creativity leading to improvements in sustainable technologies and the general well-being of society.

Problem-solving is the core essence of the Engineering field, so let's learn and practice innovative methods of problem-solving in a fun and interactive class! The projects developed in class will allow students to understand the problems related to the SDGs and find solutions while improving their English language skills. The development of thinking skills will allow students to organize their ideas in a more structured form, which will be very useful when writing reports, posters and thesis. In addition, the development of communication skills will greatly improve the level of their presentations and speeches. I am certainly sure you will enjoy this class as much as I do!



Fig. 2. Nagaoka' prototype



Fig.3. Nagaoka's prototype



Fig. 4. English prototype

増田 寿枝 MASUDA, Toshie

キーワード

日本語学 / 日本語教育学

分野等

日本語

email

masuda@nagaoka-ct.ac.jp



職名

特命助教

研究分野

副詞「全然」の用法

会話内における指示表現

留学生に対する日本語教育

興味のあること・技術 PR

●興味のあること

- ・理系留学生のための日本語教育
- ・就労者のための日本語教育
- ・子どものための日本語教育
- ・多文化共生
- ・地域日本語教育

●技術 PR

これまで国内外で様々な学生に日本語の指導を行ってきました。

【対象】

留学生、生活者、就労者、子ども

※難民に対する日本語教育にも携わっていました。

【内容】

- ・初級～上級の「読む」「書く」「聴く」「話す」
- ・日本語能力試験対策 (N5～N1)、日本留学試験対策
- ・ビジネス日本語 などの指導経験があります。

企業との連携実績

国内・海外(マレーシアの日系企業)において、企業様向け日本語指導経験があります。

外国人社員様の渡日前・渡日後の日本語研修

社内コミュニケーションを目的としたクラス

日本語能力試験対策(社内評価のため) など

ペットサン ソピット PHETSANG, Sopit

キーワード

electrochemical biosensors / organic solar cells / nanomaterials

分野等 化学

email sopit025@nagaoka-ct.ac.jp



職名 特命助教

学位 博士(工学)

研究分野

Nanomaterials play an important role in the development of a variety of nanotechnologies which expected to benefit society in the world.

Biosensors, analytical devices that use for the detection of chemical and biological substances, have been extensively applied for many fields such as medical field including general healthcare monitoring and disease diagnosis, pharmaceutical field, environmental and industrial monitoring, food safety, and so on.

Photovoltaic device or solar cell, a device that converts sunlight directly into electricity, is one of the promising candidates for renewable energy in the future.

Based on my research, we focus on the synthesis of new nanocomposites or plasmonic nanostructures in order to apply for the fabrication of biosensors and photovoltaic devices. Also, the incorporation of plasmonic grating-nanostructures to enhance efficiencies of the photo-electrochemical sensor is investigated.

特別設備

Potentiostat electrochemical instrument
Atomic Force Microscope (AFM)
Gas chromatography-mass spectrometry (GC-MS)

企業との連携実績

2019-2020 Regional Medical Sciences Center 1 Chiang Mai, Department of medical sciences, Ministry of public health, Thailand (research assistant 3 months)

2017 Campus France of Cergy-pontoise University, France "Development of multi-walled carbon nanotubes/silver nanocomposite for electrochemical supercapacitors" (2 months)

2015&2016 National Nanotechnology Center (Nanotec), National Science and Technology Development Agency (NSTDA), Thailand "Synthesis of nanomaterials for enhancement of electrochemical biosensors" (6 months)

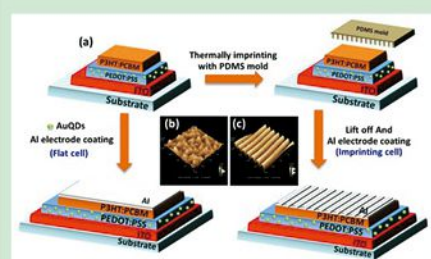


Fig.1 Developed OSCs with plasmonic grating nanostructure [3].



Fig.2 Developed glucose and cholesterol biosensors [5].

References

- [1] S. Phetsang, et al. Scientific Reports, 11, 2021, 9302.
- [2] S. Phetsang, et al. Frontiers in chemistry, 9, 2021, 671173.
- [3] S. Phetsang, et al. Nanoscale Adv. 2, 2020, 2950-2957.
- [4] S. Phetsang, et al. Nanoscale Adv. 1, 2019, 792-798.
- [5] S. Phetsang, et al. Bioelectrochemistry, 127, 2019, 125-135.

in-portとは「寄港」という意味で、地域企業の皆様が困った時は、「長岡高専」に相談してほしいという意味が込められています。

in-port とは

地域創生教育研究推進室、通称「in-port」は機能の異なる3つのセンターによって構成されます。地域と連携した教育、研究を推進し、地域の活性化を担うイノベーション人材の輩出を目指し、技術協力会と連携して地域の活性に資する幅広い活動を実施しています。



地域創生教育研究推進室長
村上 祐貴



教育関連

システムデザイン・イノベーションセンター



システムデザイン・イノベーションセンター長
陽田 修

学生生活の中で社会の問題点を見つけ企業と一緒に課題を解決

当センターの使命は分野横断的能力を涵養する教育・研究活動の推進であり、その結果としてイノベーションを生み出す実践的技術者の輩出を狙いとしています。

環境問題やエネルギー問題など、近年の技術者が直面する課題は大規模・複雑化してきており、イノベティブな解決方法を早期に導くためには、いわゆる人間力である、チームで協働するための分野横断的能力が必要不可欠です。

● JSCOOP

JSCOOP（ジェイスクープ）は、課題抽出力、課題解決力を備えたイノベーション人材を地域産業界と連携して育成する教育プログラムです。

学生に与えられるミッションは2つあり、1つ目の地域企業のPR原稿作成では、取材をもとに学生目線のPR原稿を作成し、進路を検討中の学生に情報発信を行います。2つ目のミッションである、地域企業が抱える問題の課題解決では、取材をとおして企業が現在抱えている問題を課題化し、学生が複合的な視点で課題解決に取り組みます。

● プレラボ制度

プレラボ（Pre-laboratory）制度は、教職員の萌芽的研究支援と学生教育を主目的として低学年からの研究活動を活発化させる事を目的として運用されています。本制度は、誰もが萌芽的テーマやセミナー等を全学生（学年横断・学科横断）・全教職員に提案出来ることに大きな特徴があります。

また、学生の学習意欲向上のため、プレラボ制度の活用により、ものづくりや研究への興味を再確認させると同時に、考える力、やり遂げる力を育成することを目的としています。

研究関連

オープンソリューションセンター



オープンソリューションセンター長
島宗 洋介

企業の「種」と
学校の「種」をつなぎ
イノベーションを
開花させる

当センターでは社会的意義のある新たな価値の創出で地域社会の発展に寄与することを目的とし、地域企業との多彩な産学連携を推進していきます。

長岡高専ならびに地域企業の研究連携のコアとなり、ニーズとシーズのマッチングによる技術的課題の解決、業界共通課題のオープンイノベーションの加速を目指します。

●技術協力会シーズ集

地域企業と高専によるオープンイノベーションの推進を目的とし、技術協力会会員企業の情報を集約し、企業、教職員の多様な連携のためのデータベースとして公開します。また、学生が地域企業を知るための参考資料としても活用します。

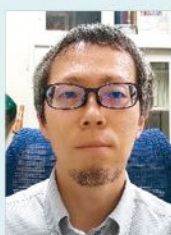
●共同研究・技術相談

企業の皆さまの技術的課題を高専教職員との共同研究により解決します。コーディネータが多様な技術シーズを有する教員とマッチングを進め、従来の枠にとられない異分野連携も可能とする共同研究を推進します。

技術的課題は、「技術相談」の場において担当教職員と共有し、共同研究を含む多様な方法で、できうる限り解決に至るようご協力いたします。

キャリア関連

地域連携推進センター



地域連携推進センター長
赤澤 真一

企業と学生が繋がり、
ともに学び、
ともに進む

当センターでは、「企業の学び直し及び企業と学生を繋ぐ開かれた拠点」を目指し、

- 1) 社会人向けリカレント（生涯学習）講座の提供
- 2) 企業・インターンシップ説明会の開催
- 3) U・I・Jターン支援事業

を事業の柱としています。新人教育やAI・IoT等時代の変化に対応したリカレント講座を企業に提供すると共に、企業と学生を強固に繋ぐ機会を豊富に設けることで、地域とより一層の連携を加速していきます。

●社会人向けリカレント（生涯学習）講座の提供

一企業だけではなかなか出来ない多様な人材教育をサポートします。人材育成、IoT、語学など様々なリカレント（生涯学習）講座を用意しています。

●企業・インターンシップ説明会の開催

春は対面、冬はオンラインで年二回実施しています。参加企業数120社以上、学生数も約500名と大規模な企業ガイダンスとなっており、学生の企業研究・就職情報収集にとって欠かせない場となっています。

●UIJターン支援事業

卒業生の地元企業への就職をサポートします。会員企業様限定でデータベースに登録でき、卒業生は自由にデータベースにアクセスすることが可能で、UIJターンを支援します。データベースが整備されることで、卒業生にとっては本校の技術協力会会員企業の求人情報を気軽に検索出来る事で安心感に繋がり、企業様にとっては即戦力となる本校卒業生を獲得するチャンスが広がります。

長岡高専技術協力会のご案内

本会は、長岡高専の教育研究に協力するとともに、長岡高専および会員相互の連携交流を深めて産業技術の振興を図り、地域社会の発展に寄与することを目的とする組織です。本会の趣旨にご賛同いただき、ご入会を希望される方は、加入申込書を Web サイトからダウンロードし、必要事項をご記入の上、事務局宛にお送りください。

主な事業	<ul style="list-style-type: none">●長岡高専の教育研究の充実に関すること（各種助成、工場見学、企業説明会等）●地域企業の発展に関すること（技術相談、技術情報交換、研究設備公開等）
分科会	専門分野に分かれ、分科会活動も行っています。 機械・制御分科会 / 電気電子分科会 / 化学・バイオ分科会 / 土木・建設分科会 / 科学・語学教育分科会
会員数 (令和 5 年 7 月現在)	企業 327 社 個人 12 名
年会費	企業 3 万円 個人 2 千円

技術協力会会員特典

1 教職員への技術相談（無料）

多様な技術シーズを持った 70 名以上の教員によって、地域企業が抱える課題の解決に向けて、「技術相談」の場を設けています。

お問合せいただくと、コーディネータが貴社に伺い、対面、またはオンラインで課題のヒアリングを行い、技術相談申込書をご一緒に作成します。その後、解決に向けて教職員とマッチングします。

2 JSCOOP

企業の力を借りて学生の教育や人材育成を行う教育プログラムに参加できます。

学生が企業の PR 原稿作成と企業が抱えている課題解決の 2 つのミッションに取り組みます。

3 リカレント教育

長岡高専では毎月様々なテーマで生涯教育（リカレント）講座を開催しています。会員企業であれば、優先的に受講できます。

4 企業ガイダンス・UIJ ターン

(1) 企業ガイダンス

年に 2 回（春・冬）に開催予定の企業ガイダンスへの参加ができます。（応募多数の場合、抽選の可能性あり）

対象は長岡高専の 3 年生 / 4 年生 / 専攻科 1 年生で、約 500 名の学生が参加する大規模イベントです。
※ 5 年生と専攻科 2 年生は任意参加になります。
※ 参加学年は変更になる場合があります。

(2) 長岡高専 UIJ ターンサイト掲載

長岡高専 UIJ ターンサイトとは、卒業生専用の UIJ ターンに関する情報を掲載しているサイトです。卒業生へ中途採用求人票や企業情報を発信することで再就職を支援すると同時に、技術協力会の企業様の中途採用活動の後押しになるよう運営しています。

技術協力会の申込先・お問合せ

長岡工業高等専門学校技術協力会事務局（長岡高専 総務課地域連携係内）

TEL : 0258-34-9312 FAX : 0258-34-9327 E-mail : ntc@nagaoka-ct.ac.jp

技術協力会 HP



長岡高専の産学連携制度

技術相談 (初回無料・技術協力会員は2回目以降も無料)

企業や外部の方々からの研究・開発などに関する相談に応じることができます。



共同研究

本校と企業などで、同じテーマの研究を実施します。



受託研究

企業などは、研究を実施しません。



寄附金

教育研究の奨励を目的として、特定の研究や研究者を指定して、受け入れます。



※詳細及び申し込み書等様式は、HPをご覧ください。

pick up 産学連携事例

赤澤教授のミミズの研究を活かした共同研究

ミミズの研究を専門とする赤澤先生が、ワキ製薬株式会社と行った共同研究では、「ミミズが持つ強力な血栓分解酵素や消化酵素」を活用したミミズのサプリを開発しました。

カプセル状のサプリメントには血栓分解酵素や消化酵素を豊富に含むミミズ粉末が含まれています。従来の粉末製造方法では高熱で殺菌処理していたため、酵素活性が低下するのが課題でしたが、新開発した圧力を用いた低温殺菌製法により、活性を低下させることなくミミズ粉末を作る事に成功しました。本技術は国内外で特許を取得し、実際に特許実施契約にまで至ったのは長岡高専初の快挙でした。

共同研究を行った企業

ワキ製薬株式会社
株式会社ミヤトウ野草研究所



また、現在力を注いでいるのが、株式会社ミヤトウ野草研究所との共同研究「ミミズ代替タンパク質の開発」です。2050年にはタンパク質が不足することが危惧されており（タンパク質クライシス）、昆虫食など代替タンパク質の開発が盛んに研究されています。しかしながら昆虫食は甲殻類アレルギーなどが課題となっています。一方ミミズは昆虫のような殻を持たずこのような問題が起こる可能性は低いとされており、飼育も容易であることから次世代タンパク質源として有望視されています。そこで、ミミズをサプリメントだけではなく代替タンパク質としても開発しています。

就職関連情報

求人票について

本校所定の様式は特にございません。貴社で用いている求人票と会社概要(会社案内パンフレット等)をお送り願います。

求人票には希望学科名の記入をお願いいたします。

求人票、会社概要(会社案内パンフレット等)は希望学科数に応じた部数を送付くださるようお願いいたします。

送付先は下記お問い合わせ先(学生課学生係)までお願いいたします。

お問い合わせ先

長岡工業高等専門学校 学生課学生係

〒940-8532 新潟県長岡市西片貝町 888 番地

TEL:0258-34-9332 FAX:0258-34-9339

e-mail :gakusei@nagaoka-ct.ac.jp

※ @ を半角にしてメールをお送りください。

インターンシップについて

2023年度のインターンシップ受け入れに関しましては、既に締め切らせていただいております。

2024年度のインターンシップ受け入れを新規で希望される場合は、学生課教務入試係までメール又はお電話にてお問い合わせください。

なお、実習希望者の数や分野の兼ね合いで、受入可能のご回答をいただいても学生を派遣出来ない場合もございますので、ご了承くださいませようお願いいたします。

お問い合わせ先

長岡工業高等専門学校 学生課教務入試係

〒940-8532 新潟県長岡市西片貝町 888 番地

TEL:0258-34-9331 FAX:0258-34-9339

e-mail : kyoumu@nagaoka-ct.ac.jp

※ @ を半角にしてメールをお送りください。

来校・面談について

就職担当教員との面談を希望する際は、あらかじめ各学科・専攻科担当に【電子メールにて】アポイントメントをお取りくださるようお願いいたします。担当教員とメールアドレスの情報については、長岡高専 HP をご覧ください。

電話での連絡はお受けしておりませんので、必ず電子メールでお願いいたします。また本校で学科間の日程調整はしておりませんのでご了承ください。

アクセスマップ



■ 交通案内

① バス利用 : JR 長岡駅東口から (越後交通) 乗車

● 2 番線 「悠久山 (ゆうきゅうざん) 公園 経由 悠久山」 行 - (約 12 分) 片貝入口下車 - 徒歩 7 分

● 1 番線 「成願寺」 行 - (約 15 分) - 高専前下車 - 徒歩 2 分

② タクシー利用 : JR 長岡駅東口から約 10 分

■ Direction to the School

① By Bus : Take the "Yukyuzan-Kouen-keiyu-Yukyuzan" bus from the No.2 bus stand at the East Exit of JR Nagaoka Station. Get off at the "Katakai-Iriguchi" bus stop.

Walk east along the main road for about 7 minutes. You will see the school on a hill to the right.

② By Taxi : Take a taxi from the East Exit of JR Nagaoka Station. It takes about 10 minutes.



独立行政法人国立高等専門学校機構

長岡工業高等専門学校

National Institute of Technology (KOSEN), Nagaoka College

〒940-8532 新潟県長岡市西片貝町 888 番地

TEL 0258-32-6435 (代表) FAX 0258-34-9700

ホームページアドレス <https://www.nagaoka-ct.ac.jp/>

National Institute of Technology, Nagaoka College

888 Nishikatai, Nagaoka, Niigata 940-8532, Japan

Phone +81 [258]32-6435 FAX +81 [258]34-9700

<https://www.nagaoka-ct.ac.jp/>

教員プロフィール集

令和 5 年 9 月発行

●お気軽にご相談ください。

〈お問い合わせ窓口〉

TEL 0258-34-9312 (総務課地域連携係)

E-mail soudan@nagaoka-ct.ac.jp

